

4 地域別計画

4 地域別計画

◇市域の各地域・地区別に、まちづくりの基本的方向等を明らかにする

(1) 地域別計画の考え方

① 地域・地区の区分

- ◆本市は、多様な特性を備えた地域によって構成されていることから、行政所管区域を基本に市域を大きく9地域に区分します。
- ◆このうち、2地域（中央地域、谷山地域）については、地形等の自然条件、交通、都市機能の集積等の諸条件を踏まえ、さらに7地区に区分します。

② 計画の内容

- ◆市域の各地域・地区別に、現状及び課題、まちづくりの基本的方向を明らかにするとともに、基本目標別計画の各種施策の主なもの等について掲載します。

③ 地域別計画の今後の方向性

- ◆各地域・地区別のまちづくりを進めていくにあたっては、今後、より身近な地域単位※における多様な地域コミュニティ組織の連携等を図り、地域資源の活用や地域課題に対して、自分たちの地域は自分たちでつくるという意識を育み、住民主体の「共助」のまちづくりを一層推進していく必要があります。
- ◆そのため、コミュニティビジョンや支所機能充実プランに基づく取組をはじめ、協働推進のためのさまざまな取組を進め、住民主体で地域の課題に向き合う仕組みや体制づくりを積極的に展開します。
- ◆また、先導的かつ重点的に取り組む「豊かさ実感リーディングプロジェクト」においても、より身近な地域単位のまちづくりに寄与する取組を盛り込み、その一層の推進を図ります。
- ◆今後、これらの取組を通じた成果や課題等も踏まえる中で、平成29年度からの後期基本計画における地域別計画策定も視野に入れながら、より身近な地域単位のまちづくりのあり方等について検討を進めます。

《地域・地区の区分》

※小学校区単位を基本

- I 中央地域：(I) 中央地区
 : (II) 上町地区
 : (III) 鴨池地区
 : (IV) 城西地区
 : (V) 武・田上地区
- II 谷山地域：(I) 谷山北部地区
 : (II) 谷山地区
- III 伊敷地域
- IV 吉野地域
- V 桜島地域
- VI 吉田地域
- VII 喜入地域
- VIII 松元地域
- IX 郡山地域



地域	地区	町丁目名
中央地域	中央地区	名山町、平之町、東千石町、西千石町、中町、金生町、照国町、泉町、住吉町、堀江町、大黒町、呉服町、新町、船津町、城南町、松原町、南林寺町、甲突町、錦江町、新屋敷町、樋之口町、山之口町、千日町、加治屋町、中央町、上之園町、上荒田町
	上町地区	坂元町、西坂元町、東坂元1～4丁目、清水町、祇園之洲町、鼓川町、池之上町、稲荷町、春日町、柳町、浜町、上竜尾町、下竜尾町、冷水町、長田町、大竜町、上本町、小川町、本港新町、易居町、山下町、城山町、玉里団地1～3丁目、若葉町、吉野町の一部（磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松）
	鴨池地区	高麗町、荒田1～2丁目、与次郎1～2丁目、下荒田1～4丁目、天保山町、鴨池新町、鴨池1～2丁目、唐湊3～4丁目、郡元町、郡元1～3丁目、南郡元町、東郡元町、真砂町、真砂本町、三和町、南新町、日之出町、紫原1～6丁目、西紫原町、宇宿町、桜ヶ丘7～8丁目、宇宿1～9丁目、中央港新町、新栄町、向陽2丁目
	城西地区	城山1～2丁目、新照院町、草牟田町、草牟田1～2丁目、玉里町、永吉1～3丁目、明和1～5丁目、原良町、原良1～3丁目、薬師1～2丁目、城西1～3丁目、鷹師1～2丁目、常盤町、常盤1～2丁目、西田1～3丁目
	武・田上地区	武1～3丁目、唐湊1～2丁目、紫原7丁目、向陽1丁目、広木1～2丁目、田上町、田上1～8丁目、田上台1～4丁目、西別府町、武岡1～6丁目、西陵1～8丁目、小野町の一部（西之谷）
谷山地域	谷山北部地区	五ヶ別府町、星ヶ峯1～6丁目、皇徳寺台1～5丁目、山田町、中山町、中山1～2丁目、自由ヶ丘1～2丁目、桜ヶ丘1～6丁目、小原町、魚見町、東谷山1～7丁目、清和1～2丁目、希望ヶ丘町、小松原1～2丁目、東開町
	谷山地区	上福元町、谷山中央1～7丁目、下福元町、慈眼寺町、谷山塩屋町、和田町、和田1～2丁目、平川町、卸本町、南栄1～6丁目、七ツ島1～2丁目、谷山港1～3丁目、錦江台1～3丁目、坂之上1～8丁目、光山1丁目～2丁目
伊敷地域		伊敷町、伊敷1～8丁目、伊敷台1～7丁目、西伊敷1～7丁目、千年1～2丁目、花野光ヶ丘1～2丁目、下伊敷町、下伊敷1～3丁目、小野町（西之谷を除く）、小野1～4丁目、犬迫町、小山田町、皆与志町
吉野地域		岡之原町、緑ヶ丘町、川上町、下田町、吉野町（磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松を除く）、大明丘1～3丁目
桜島地域		桜島赤水町、桜島赤生原町、桜島小池町、桜島西道町、桜島白浜町、桜島武町、桜島藤野町、桜島二俣町、桜島松浦町、桜島横山町、新島町、野尻町、持木町、東桜島町、古里町、有村町、黒神町、高免町
吉田地域		西佐多町、東佐多町、本城町、本名町、宮之浦町、牟礼岡1～3丁目
喜入地域		喜入瀬々串町、喜入中名町、喜入生見町、喜入前之浜町、喜入町、喜入一倉町
松元地域		石谷町、入佐町、上谷口町、直木町、春山町、福山町、松陽台町、四元町、平田町
郡山地域		花尾町、有屋田町、川田町、郡山町、郡山岳町、西俣町、東俣町、油須木町

(2) 地域の現況

※平成17年10月1日現在の町丁目名による

項目	中央地域										
	中央地区	全市構成比	上町地区	全市構成比	鴨池地区	全市構成比	城西地区	全市構成比	武・田上地区	全市構成比	
面積 (平成17年10月1日現在)	3.9km ²	0.7%	8.8km ²	1.6%	12.9km ²	2.4%	7.7km ²	1.4%	14.9km ²	2.7%	
人口	37,264	6.2%	42,062	7.0%	104,095	17.2%	47,642	7.9%	62,664	10.4%	
	男	16,142	5.7%	18,763	6.7%	48,632	17.3%	21,917	7.8%	29,546	10.5%
	女	21,122	6.5%	23,299	7.2%	55,463	17.2%	25,725	8.0%	33,118	10.2%
世帯数	21,167	8.3%	18,408	7.2%	51,088	20.0%	21,160	8.3%	25,928	10.1%	
平均世帯人員	1.8	(2.4人)	2.3	(2.4人)	2.0	(2.4人)	2.3	(2.4人)	2.4	(2.4人)	
年齢別人口構成比	0～14歳	9.9%	(14.5%)	12.9%	(14.5%)	13.5%	(14.5%)	12.7%	(14.5%)	14.2%	(14.5%)
	15～64歳	70.6%	(66.7%)	63.7%	(66.7%)	69.3%	(66.7%)	64.9%	(66.7%)	68.1%	(66.7%)
	65歳以上	19.5%	(18.8%)	23.4%	(18.8%)	17.1%	(18.8%)	22.3%	(18.8%)	17.7%	(18.8%)
産業別就業者比率	第一次産業	0.3%	(1.8%)	0.6%	(1.8%)	0.3%	(1.8%)	0.5%	(1.8%)	0.5%	(1.8%)
	第二次産業	9.5%	(17.0%)	12.8%	(17.0%)	13.7%	(17.0%)	12.7%	(17.0%)	17.2%	(17.0%)
	第三次産業	89.1%	(80.6%)	85.9%	(80.6%)	85.3%	(80.6%)	86.1%	(80.6%)	81.7%	(80.6%)

項目	谷山地域				伊敷地域	全市構成比	吉野地域	全市構成比	桜島地域	全市構成比	
	谷山北部地区	全市構成比	谷山地区	全市構成比							
面積 (平成17年10月1日現在)	36.1km ²	6.6%	70.7km ²	12.9%	57.1km ²	10.4%	33.2km ²	6.1%	76.8km ²	14.1%	
人口	82,311	13.6%	74,628	12.3%	56,659	9.4%	46,100	7.6%	6,047	1.0%	
	男	39,568	14.1%	35,463	12.6%	25,958	9.2%	21,603	7.7%	2,770	1.0%
	女	42,743	13.2%	39,165	12.1%	30,701	9.5%	24,497	7.6%	3,277	1.0%
世帯数	30,805	12.1%	29,192	11.4%	21,327	8.4%	17,021	6.7%	2,481	1.0%	
平均世帯人員	2.7	(2.4人)	2.6	(2.4人)	2.7	(2.4人)	2.7	(2.4人)	2.4	(2.4人)	
年齢別人口構成比	0～14歳	17.8%	(14.5%)	16.3%	(14.5%)	14.9%	(14.5%)	14.9%	(14.5%)	12.5%	(14.5%)
	15～64歳	69.4%	(66.7%)	67.8%	(66.7%)	64.0%	(66.7%)	64.0%	(66.7%)	51.9%	(66.7%)
	65歳以上	12.8%	(18.8%)	15.9%	(18.8%)	21.1%	(18.8%)	21.0%	(18.8%)	35.6%	(18.8%)
産業別就業者比率	第一次産業	0.7%	(1.8%)	1.1%	(1.8%)	1.7%	(1.8%)	3.4%	(1.8%)	22.7%	(1.8%)
	第二次産業	17.9%	(17.0%)	22.2%	(17.0%)	18.1%	(17.0%)	18.4%	(17.0%)	15.1%	(17.0%)
	第三次産業	80.9%	(80.6%)	76.1%	(80.6%)	79.7%	(80.6%)	77.4%	(80.6%)	62.1%	(80.6%)

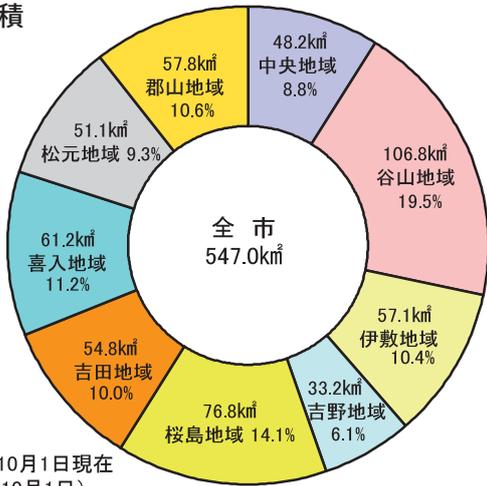
項目	吉田地域	全市構成比	喜入地域	全市構成比	松元地域	全市構成比	郡山地域	全市構成比	
	面積 (平成17年10月1日現在)	54.8km ²	10.0%	61.2km ²	11.2%	51.1km ²	9.3%	57.8km ²	10.6%
人口	11,696	1.9%	12,332	2.0%	12,621	2.1%	8,246	1.4%	
	男	5,455	1.9%	5,683	2.0%	6,000	2.1%	3,889	1.4%
	女	6,241	1.9%	6,649	2.1%	6,621	2.0%	4,357	1.3%
世帯数	4,207	1.6%	4,863	1.9%	4,554	1.8%	3,075	1.2%	
平均世帯人員	2.8	(2.4人)	2.5	(2.4人)	2.8	(2.4人)	2.7	(2.4人)	
年齢別人口構成比	0～14歳	14.6%	(14.5%)	13.8%	(14.5%)	16.1%	(14.5%)	13.9%	(14.5%)
	15～64歳	62.7%	(66.7%)	59.1%	(66.7%)	64.1%	(66.7%)	59.7%	(66.7%)
	65歳以上	22.6%	(18.8%)	27.2%	(18.8%)	19.7%	(18.8%)	26.5%	(18.8%)
産業別就業者比率	第一次産業	7.8%	(1.8%)	13.4%	(1.8%)	5.0%	(1.8%)	10.8%	(1.8%)
	第二次産業	24.3%	(17.0%)	22.7%	(17.0%)	26.7%	(17.0%)	29.0%	(17.0%)
	第三次産業	67.4%	(80.6%)	63.3%	(80.6%)	68.2%	(80.6%)	59.7%	(80.6%)

(注)表中の()は、全市の数値。産業別就業者比率は、このほかに分類不能分があり、合計100%にならない。

出典：平成17年(2005年)国勢調査

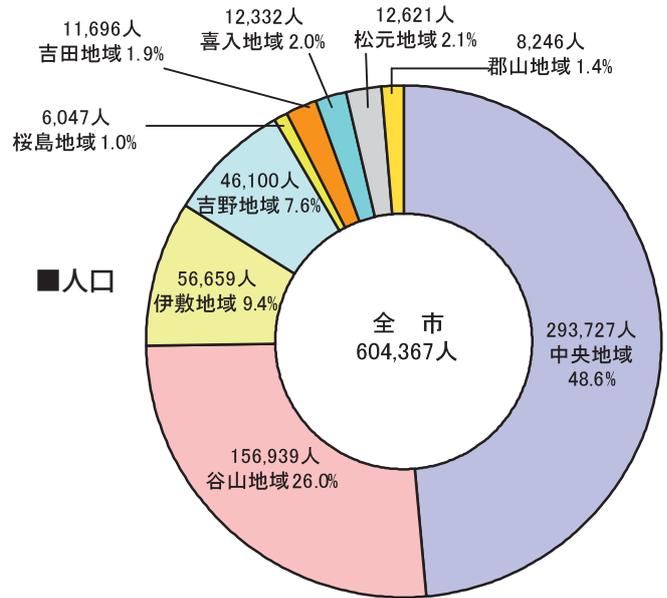
※平成17年10月1日より後に住居表示が実施された町については、住居表示実施前の町丁目により地域・地区を分類し、上の表にデータを計上している。

■面積



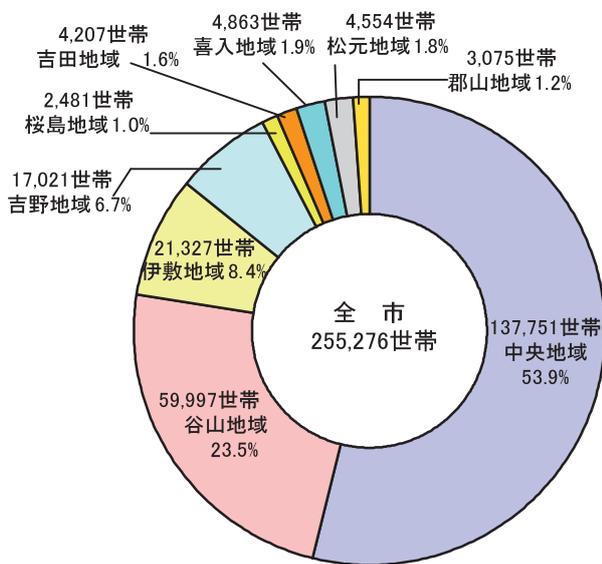
平成17年10月1日現在
(2005年10月1日)

■人口



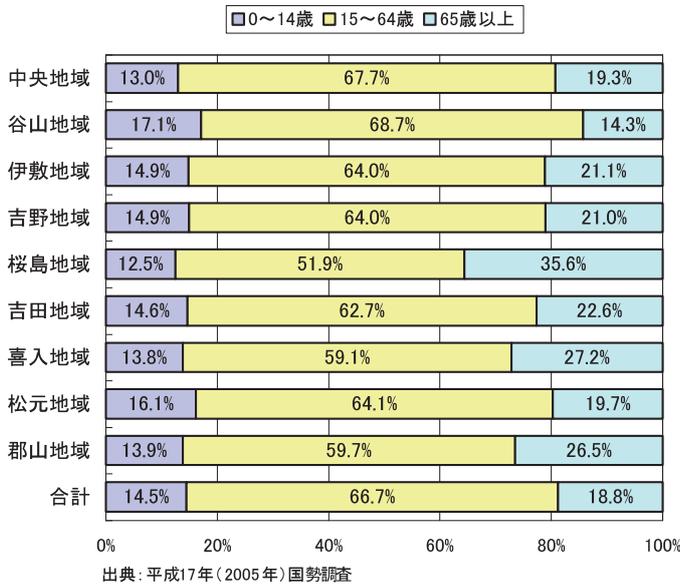
出典: 平成17年(2005年)国勢調査

■世帯数

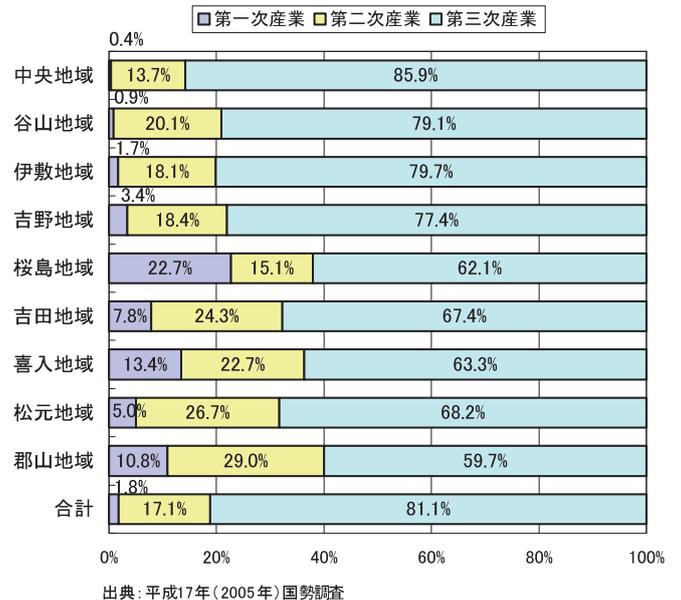


出典: 平成17年(2005年)国勢調査

■地域別年齢別人口構成



■産業別就業者比率



(3) 地域別計画

I 中央地域 (I) 中央地区

【現状】

- ・中央地区は、本市のほぼ中央部に位置し、いづろ・天文館を含む平坦部の市街地と臨海部の新港区、鹿児島中央駅東口周辺から上之園町、上荒田町までを含む地区で構成されています。
- ・地区の人口は近年増加傾向にあり、他地域・地区との比較では、生産年齢人口比率が最も高く、平均世帯人員は最も少なくなっています。
- ・商業・業務・サービス機能が集積し、中心市街地を形成するとともに、天文館公園、緑化された市電軌道敷、甲突川と周辺の緑地など、潤いのある空間整備も進められています。
- ・陸の玄関である鹿児島中央駅をはじめ、唐湊線等の市電、新港区など主要な交通施設が整備されており、鹿児島中央駅東口周辺では、九州新幹線鹿児島ルートの特急列車の全線開業に伴い、再開発による商業施設やホテル等の整備が進んでいます。



【課題】

- ・商業・業務機能をはじめとする多様な都市機能の集積や、広域交通及び市内交通の拠点機能、さらには路面電車の走る市街地景観や、緑化された市電軌道敷と公園・街路樹等の緑を生かし、市民や観光客等が数多く訪れる中心市街地として、さらなる魅力向上を図る必要があります。
- ・鹿児島中央駅地区、いづろ・天文館地区、本港区を結ぶ都市軸及びその周辺においては特に、ハード・ソフト両面から回遊性の向上を図る必要があります。

【基本的方向】

- ・中心市街地活性化基本計画に基づく施策・事業の推進により、観光・交流機能の強化や商業の活性化、安心安全・快適な都市環境の創出を図ります。
- ・利便性の高い立地条件を生かし、商業施設と都市型住宅等の複合した再開発の促進、新市立病院建設・緑地の整備・交通局施設の整備(JT跡地)、魚類市場の再整備を進めます。
- ・集積する都市機能の強化を図るとともに、特色ある都市景観、まちなかの緑や甲突川などの自然を生かし、にぎわいと潤いが共存する都市空間の創出を図ります。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開し、やすい環境づくりを進めます。

【主な施策・事業】

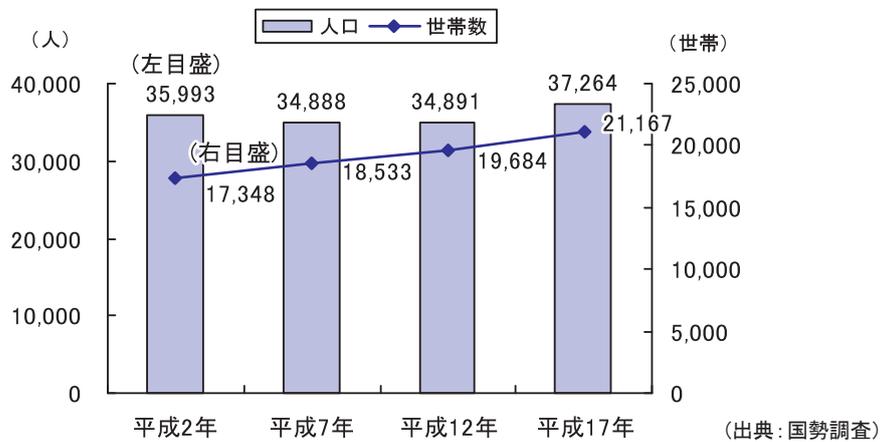
- ・中心市街地活性化基本計画の推進
- ・維新ふるさと館、観光交流センター等の活用
- ・コミュニティサイクルの導入検討、自転車走行空間づくりの推進
- ・いづろ・天文館地区・加治屋町周辺の回遊空間づくりの推進
- ・鹿児島中央駅周辺の一体的まちづくりの推進
- ・新市立病院の建設、緑地の整備、交通局施設の整備(JT跡地)
- ・魚類市場の再整備
- ・天文館公園の再整備

《地域の概要》

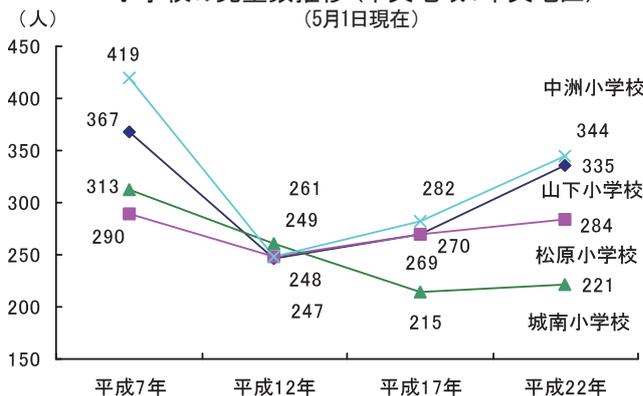


《人口等の推移》

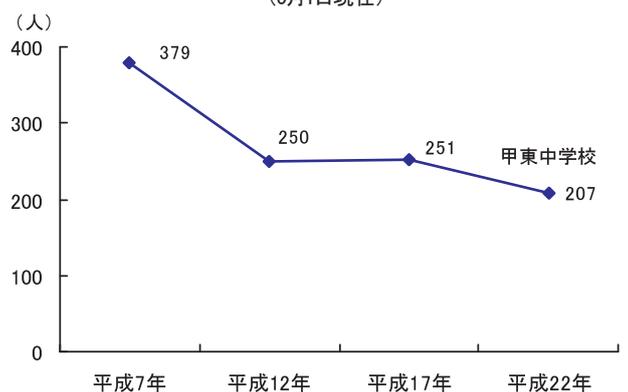
人口及び世帯数の推移 (中央地域: 中央地区)



小学校の児童数推移 (中央地域: 中央地区)
(5月1日現在)



中学校の生徒数推移 (中央地域: 中央地区)
(5月1日現在)



I 中央地域 (II) 上町地区

【現状】

- ・上町地区は、本市の中央部北側に位置し、稲荷川下流域の平坦部の市街地と臨海部の本港区、磯周辺の自然海岸及びその後背の台地で構成されています。
- ・地区の人口は近年減少傾向にあり、年齢別構成比では、老年人口比率が23.4%に達し、全市平均の18.8%より高い数値となっています。
- ・本地区は、桜島や錦江湾の眺望に優れ、市街地に近接した貴重な緑地や自然海岸、磯地区の近代化産業遺産や石垣・石塀が残る歴史的な風格ある街並みなど、歴史、文化と自然に恵まれた風土を有しています。
- ・また、市役所周辺には、歴史・文化などに関する市の中心的な公共施設が立地するとともに、鹿児島駅、桜島・離島航路を有する本港区、国道10号、県道鹿児島吉田線等の交通施設が集積する本市の北の玄関口となっています。



【課題】

- ・鉄道、市電、バス、フェリーなど公共交通機関が集積している一方で、交通相互の連絡は十分とは言えず、また、公共公益施設の移転等に伴う地区の活力低下への対応も必要となっています。
- ・始良・吉野方面からの交通が国道10号などの限られた路線に集中することによる、交通混雑が発生しています。
- ・磯地区においては、近代化産業遺産の世界文化遺産登録に向けた取組が進められており、貴重な文化遺産や歴史資源を将来世代に継承するとともに、これらを生かした魅力ある地域づくりが求められています。

【基本的方向】

- ・鹿児島駅周辺地区においては、低未利用地となっている旧国鉄用地等を活用するとともに、交通結節機能の強化や魅力ある新たな都市拠点を形成します。
- ・都市景観や観光資源の面から、路面電車や桜島フェリーのさらなる活用策や磯地区の近代化産業遺産と連動した交通体系について検討を行います。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、歴史、文化と自然に恵まれた風土などの地域資源を生かした、個性あふれる地域づくりを地域住民の多様な地域活動と連携しながら進めます。

【主な施策・事業】

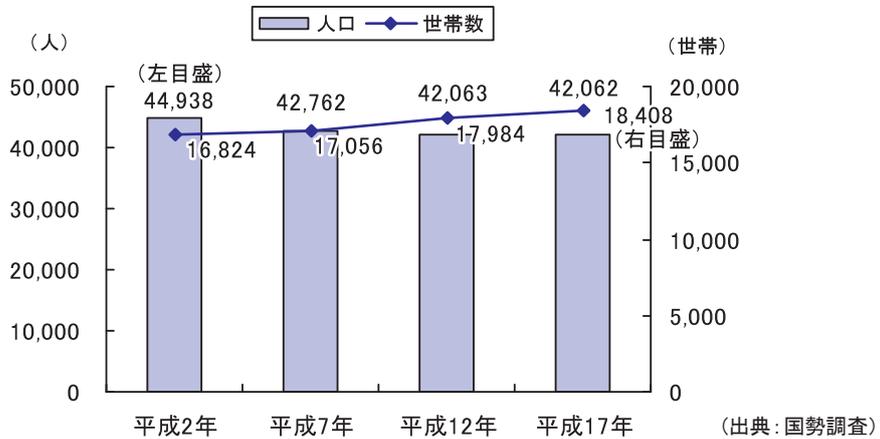
- ・鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業の推進
- ・路面電車や桜島フェリーの都市景観・観光資源としての活用検討
- ・国道10号鹿児島北バイパスの整備促進
- ・近代化産業遺産保存管理計画等策定事業の推進、異人館の活用
- ・かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館、市立美術館、西郷南洲顕彰館、かごしま水族館などにおける企画展やイベント等の開催
- ・市立美術館や中央公民館の整備
- ・イルミネーションによる夜の回遊空間づくりの推進
- ・城山公園の保全
- ・磯地区・南洲門前通り地区の景観形成重点地区指定

《地域の概要》

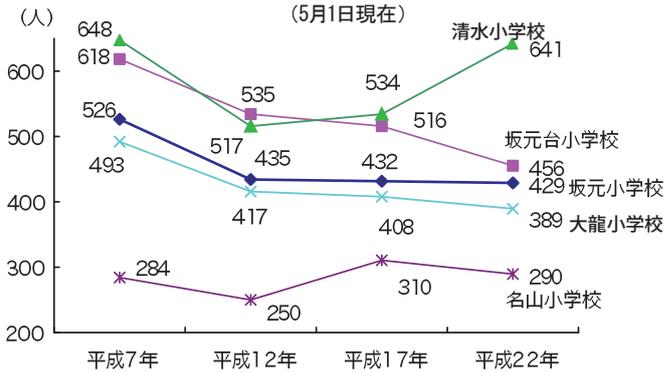


《人口等の推移》

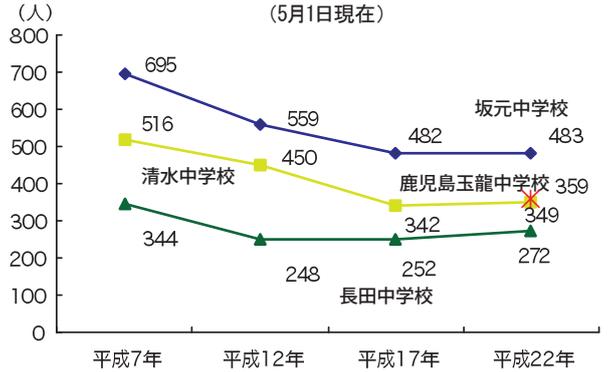
人口及び世帯数の推移 (中央地域：上町地区)



小学校の児童数推移 (中央地域：上町地区)



中学校の生徒数推移 (中央地域：上町地区)



I 中央地域 (Ⅲ) 鴨池地区

【現状】

- ・鴨池地区は、本市の中央部に位置し、甲突川と新川に囲まれた平坦部と脇田川沿岸から新川にかけての丘陵部及び平坦部、与次郎ヶ浜から金属団地に至る臨海部で構成されています。
- ・地区の人口は近年増加傾向にあり、年齢別構成比では、生産年齢人口比率が69.3%と中央地区、谷山北部地区に次いで高くなっています。
- ・本地区には、鹿児島大学をはじめとする教育機関が多く、また、与次郎ヶ浜地区一帯には、市民文化ホール、市立図書館等の文化施設や鴨池運動公園等のスポーツ施設など、教育、文化、スポーツ・レクリエーション活動の拠点が集中しています。
- ・本地区には、鹿児島の南北方向を連絡する国道225号、産業道路や高麗通線など幹線道路が多数あります。



【課題】

- ・臨海部の産業用地では、機械、金属等の企業が立地していますが、一部には低未利用地が見られ、今後、マリポートかごしまの整備状況や社会経済動向に対応した土地利用への転換、再編を図ることが必要です。
- ・国道225号や産業道路の広域的な道路では、交通混雑が発生しています。
- ・近年、平坦部におけるマンション建設等が進み、人口の増加が見られる一方で、子ども、PTA、学生、高齢者など世代間の交流の場やふれあいの機会が不足してきています。
- ・地域経済の活性化や豊かな地域社会を実現するために、大学と行政、企業、市民等の交流を通じて、効果的な施策の展開を図っていくことが求められています。

【基本的方向】

- ・臨海部においては、土地利用の再編等により、業務、交流等の都市機能を一層充実し、地域の活性化を図ります。
- ・広域的な幹線道路の整備を促進するとともに、丘陵部の住宅団地と平坦部市街地を結ぶ幹線道路の整備を進めます。
- ・大学等有する豊富な知的、人的資源を有効に活用し、地域の活性化を図ります。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、世代間の交流の場やふれあいの機会を増やすために、住民主体の多様な地域活動を展開しやすい環境づくりを進めます。

【主な施策・事業】

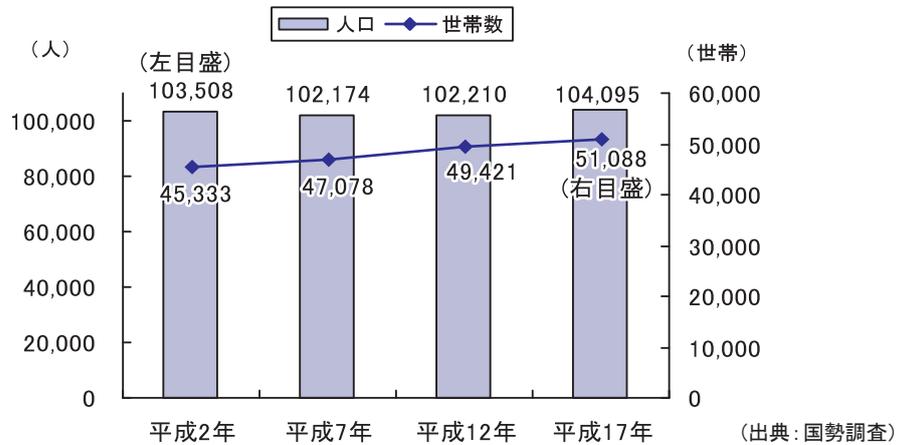
- ・地区計画等を併用した用途地域等の見直し
- ・臨港道路・鹿児島東西幹線道路・鹿児島南北幹線道路の整備促進
- ・街路事業の推進（宇宿広木線、高麗通線）
- ・鴨池公園の水泳プールや多目的屋内運動場等の体育施設の活用
- ・市民文化ホールや市立図書館、科学館等の文化施設の活用
- ・鹿児島大学との連携
- ・すこやか子育て交流館（りぼんかん）を拠点とした子育て支援の推進

《地域の概要》

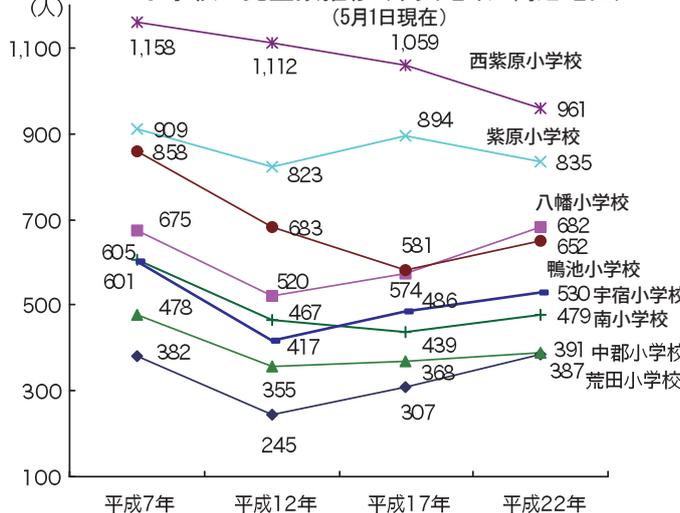


《人口等の推移》

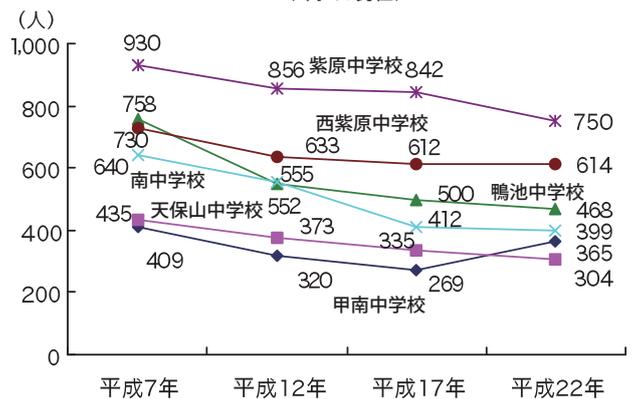
人口及び世帯数の推移 (中央地域：鴨池地区)



小学校の児童数推移 (中央地域：鴨池地区)



中学校の生徒数推移 (中央地域：鴨池地区)



I 中央地域 (IV) 城西地区

【現状】

- ・城西地区は、都心部の北西に隣接し、地区の中央を流れる甲突川沿岸の平坦地とそれを挟む丘陵地で構成されています。
- ・地区の人口は近年減少傾向にありますが、人口密度は、中央地区、鴨池地区に次いで高くなっています。
- ・本地区は、都心部に隣接する閑静な住宅地で、鹿児島アリーナなど多くの教育文化施設があり、文教市街地としての性格を有しています。
- ・かごしま環境未来館があり、環境保全活動の拠点施設として、環境学習やリサイクルなどさまざまな活動が行われています。
- ・鹿児島中央駅西口周辺においては、商業施設やホテルなど九州新幹線鹿児島ルート の全線開業に伴う環境整備が進んでいます。



【課題】

- ・多くの教育文化施設、かごしま環境未来館の立地や機能を十分生かしていくとともに、丘陵部の住宅団地と平坦部の交通の円滑化、防災性向上に向けた生活環境の改善、甲突川や都心部に近い貴重な緑の保全・活用を図る必要があります。
- ・近年、平坦部におけるマンション建設等が進んだことによる地域としての一体感の希薄化や高齢化の進行などにより、地域活動の維持・活性化が課題となっています。

【基本的方向】

- ・かごしま環境未来館や鹿児島アリーナ等の施設を活用し、環境学習、環境保全活動や健康・スポーツ、各種イベント等を通じた交流を促進します。
- ・土地区画整理事業の推進などにより、生活環境の改善や都心部への交通の円滑化を図ります。
- ・土地区画整理事業施行区域内の城西福祉館、薬師保育園、乳児院の建替を行います。
- ・甲突川や緑地を地域の身近な自然として保全・活用を図ります。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開しやすい環境づくりを進めます。

【主な施策・事業】

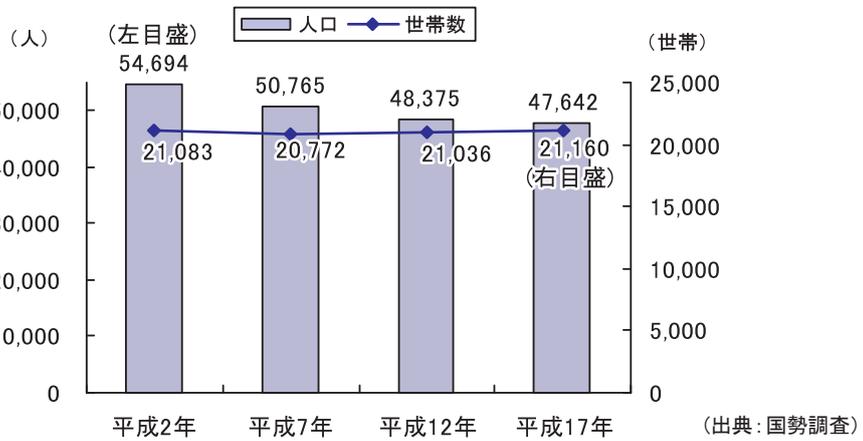
- ・かごしま環境未来館を中心とした環境学習の推進
- ・鹿児島アリーナ等における各種イベント等の開催
- ・土地区画整理事業の推進（原良第二地区、原良第三地区）
- ・交通円滑化に向けた地域生活道路の整備
- ・城西福祉館、薬師保育園、乳児院の建替
- ・鹿児島女子高多目的グラウンドの整備
- ・旧島津氏玉里邸庭園の整備

《地域の概要》

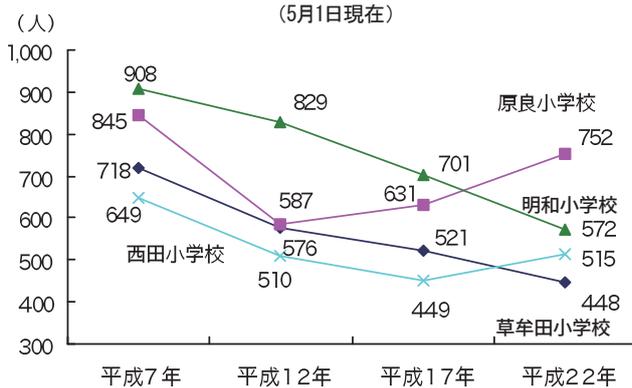


《人口等の推移》

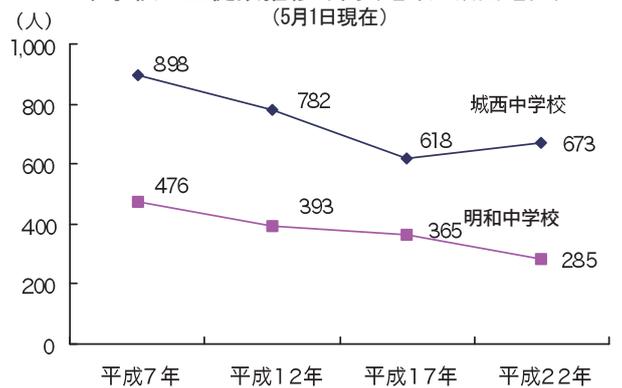
人口及び世帯数の推移 (中央地域：城西地区)



小学校の児童数推移 (中央地域：城西地区)



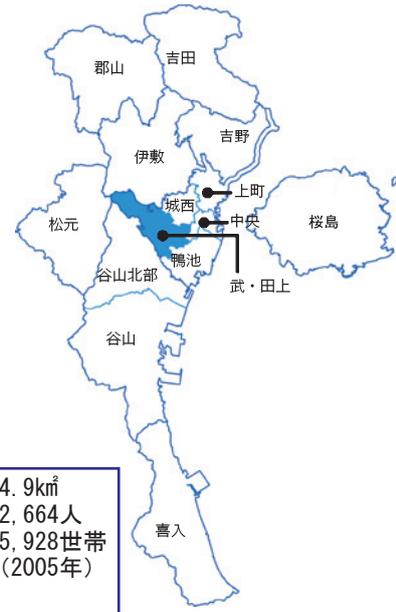
中学校の生徒数推移 (中央地域：城西地区)



I 中央地域 (V) 武・田上地区

【現状】

- ・武・田上地区は、新川、脇田川の上流域に位置し、河川沿岸の平坦地と東部の丘陵、西部の山地で構成されています。
- ・地区の人口は近年減少傾向にあり、年齢別人口構成比は、全市構成比に近い、平均的な数値となっています。
- ・本地区の平坦都市街地においては、土地区画整理事業により基盤整備の進められた区域がある一方、狭隘な道路など生活基盤の脆弱な新川沿岸の住宅密集地などがあります。
- ・自動車専用道路のインターチェンジが集中するなど交通の要衝となっており、大峯の丘陵部に九州縦貫自動車道鹿児島インターに直結して鹿児島流通業務団地が形成され、運輸・卸売の事業者が数多く立地するなど、広域的な産業・物流の拠点となっています。



【課題】

- ・自動車専用道路などの広域交通の集中に加え、丘陵部の大型団地などから都心部へ向かう交通が県道鹿児島東市来線や県道永吉入佐鹿児島線など限られた道路へ集中することから、慢性的な交通渋滞が生じています。
- ・新川沿岸の田上小学校周辺などの密集住宅地については、地区の生活環境の改善及び治水対策が必要となっています。
- ・鹿児島中央駅の西口周辺においては、拠点性の向上を図るため、環境整備を進める必要があります。

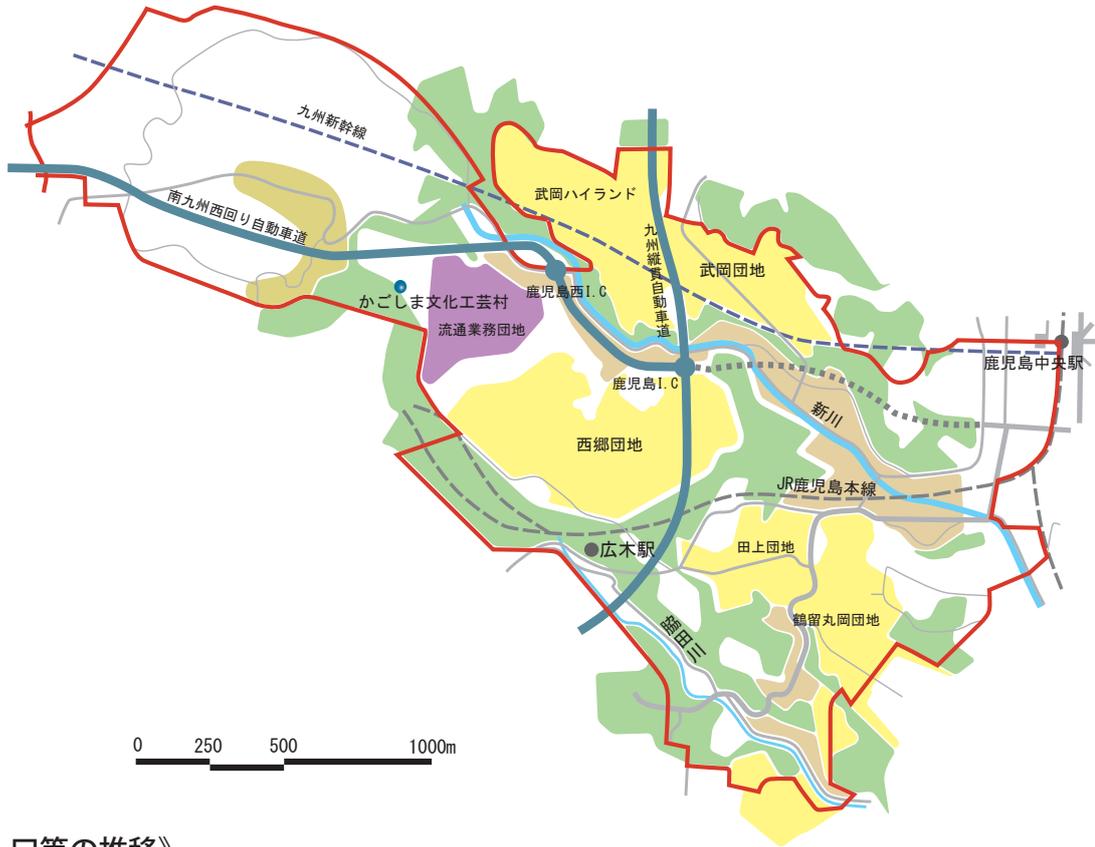
【基本的方向】

- ・都市内交通の円滑化と県道永吉入佐鹿児島線などの慢性的な交通渋滞を緩和するため、鹿児島東西幹線道路の整備を促進するとともに、幹線道路の整備を進めます。
- ・田上小学校周辺においては、生活環境の改善に向けた面的整備のあり方について検討します。
- ・新川の河川改修を促進するなど、総合的な治水対策を進めます。
- ・鹿児島中央駅の西口周辺においては、土地の高度利用などを通じて、陸の玄関にふさわしい、都市空間の創出を図ります。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開し、やすい環境づくりを進めます。

【主な施策・事業】

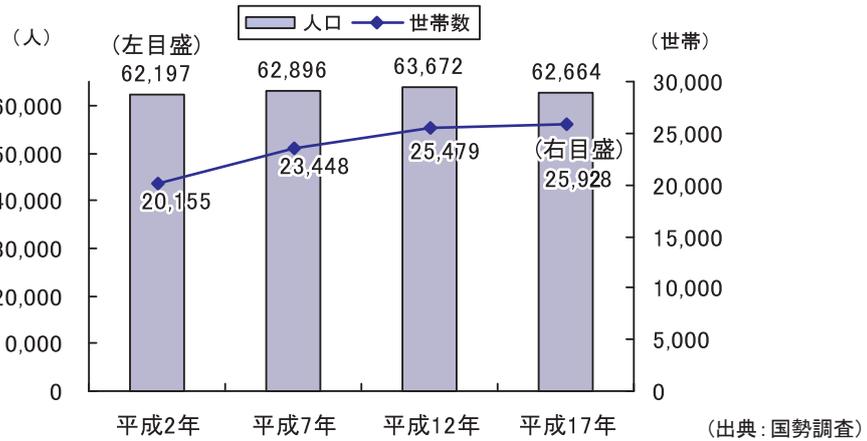
- ・鹿児島東西幹線道路の整備促進
- ・街路事業の推進（宇宿広木線）
- ・新川の河川改修の促進
- ・西之谷ダムの建設促進
- ・中央駅西口周辺における都市機能の充実の促進
- ・かごしま文化工芸村の活用

《地域の概要》

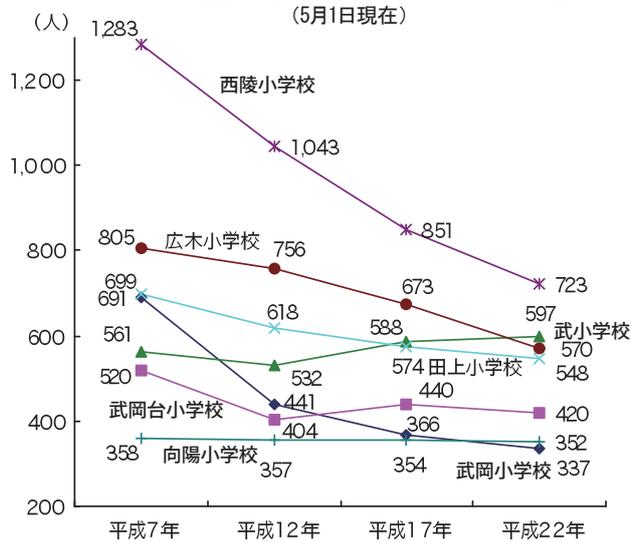


《人口等の推移》

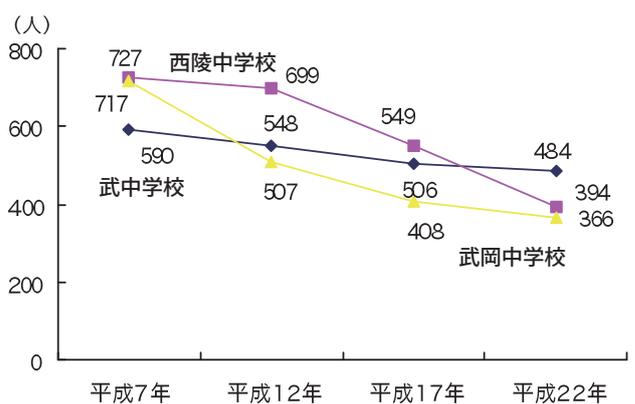
人口及び世帯数の推移 (中央地域: 武・田上地区)



小学校の児童数推移 (中央地域: 武・田上地区)



中学校の生徒数推移 (中央地域: 武・田上地区)



Ⅱ 谷山地域 (Ⅰ) 谷山北部地区

【現状】

- ・谷山北部地区は、永田川の上流域と下流域左岸に位置し、河岸沿いの平坦地、丘陵地、臨海部の埋立地で構成され、産業道路、国道225号、丘陵部の指宿鹿兒島インター線、市電谷山電停等を有しています。
- ・地区の人口は近年増加傾向にあり、他地域・地区との比較では、老年人口比率が最も低く、年少人口比率が最も高くなっています。
- ・本地区には、星ヶ峯ニュータウンや皇徳寺ニュータウン、桜ヶ丘団地などの大型団地があり、近年では、その隣接地や上福元町、中山町などで新たな宅地開発が進められています。
- ・鹿兒島ふれあいスポーツランドや谷山北公民館が整備され、スポーツ・レクリエーションやコミュニティ活動を通じた市民の交流が図られています。
- ・山間部や永田川上流域には、良好な田園集落環境が残されており、水稻や野菜・果樹・畜産等の農業が行われています。



【課題】

- ・住宅団地と谷山電停周辺、臨海部を連絡する東西方向のネットワークが十分でなく、これらを相互に連絡する道路網の整備が求められており、また、地区内の通過交通の緩和を図るため、臨港道路や鹿兒島南北幹線道路の整備促進を図る必要があります。
- ・山間部や永田川上流域で行われる農業について、都市型農業の振興のほか、地区の特性を生かした農業の振興を図ることが課題となっています。
- ・永田川流域の景観的にも優れた田園環境について、集落機能の活力の維持・増進を図りつつ、いかに保全していくかが課題となっています。

【基本的方向】

- ・幹線道路の整備促進等により、地区内の通過交通の緩和を図るとともに、丘陵部住宅地と地区内を相互に結ぶネットワークの形成に努めます。
- ・農村地域において、都市型農業の推進、グリーン・ツーリズムの推進、良好な田園環境の保全、集落機能の活力の増進などを図ります。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開し、やすい環境づくりを進めます。

【主な施策・事業】

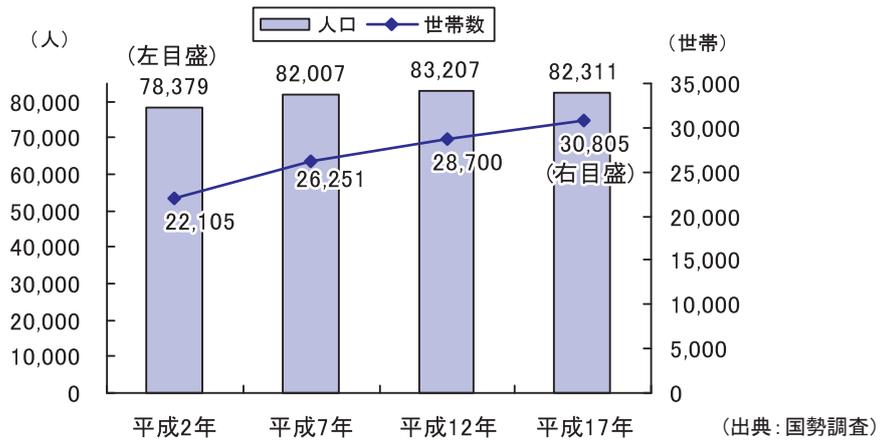
- ・臨港道路・鹿兒島南北幹線道路の整備促進
- ・県道小山田谷山線の整備促進
- ・あいばすの運行・利用促進
- ・都市型農業の振興
- ・グリーン・ツーリズムの推進
- ・青果市場のリニューアル
- ・鹿兒島ふれあいスポーツランド内の県立サッカー・ラグビー場の整備促進
- ・谷山北公民館や東開庭球場の活用

《地域の概要》

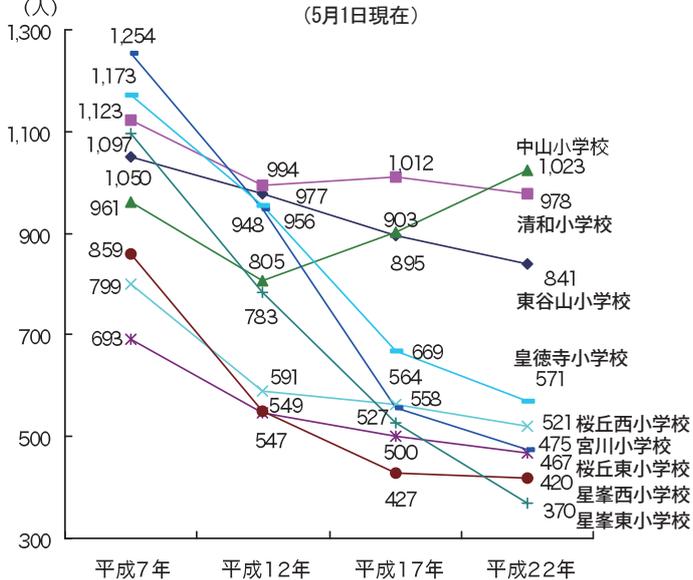


《人口等の推移》

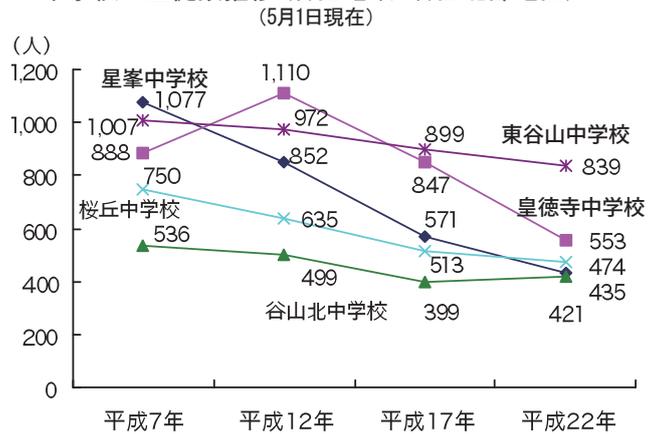
人口及び世帯数の推移 (谷山地域：谷山北部地区)



小学校の児童数推移 (谷山地域：谷山北部地区)



中学校の生徒数推移 (谷山地域：谷山北部地区)



Ⅱ 谷山地域 (Ⅱ) 谷山地区

【現状】

- ・谷山地区は、永田川、和田川等の下流域沿岸の平坦地とそれらを囲む丘陵地、内陸の山間地、臨海部の埋立造成地及び自然海岸で構成されています。
- ・地区の人口は近年増加傾向にあり、他地域・地区との比較では、年少人口比率が谷山北部地区に次いで高くなっています。
- ・交通結節点であるＪＲ谷山駅の周辺においては、幹線道路の混雑や中心商店街の活力低下が見られます。
- ・臨海部においては、谷山港の港湾機能を生かし、飼料、機械、金属、食品、印刷等の製造業や卸商業団地が形成されています。
- ・平川地区や玉利地区では、野菜や果樹・畜産等の農業が行われています。
- ・本地区は権現ヶ尾から烏帽子岳にいたる広大な山林や平川の海岸など、豊かな自然環境に恵まれています。
- ・平川地区には、レクリエーション機能を有した平川動物公園、錦江湾公園、ヨットハーバー等の施設があります。



【課題】

- ・鉄道踏切や河川橋りょう部など大量の交通が集中する交通ネック箇所があり、幹線道路の交通渋滞が慢性化しており、これらを解消して交通の円滑化を図る幹線道路網の整備が必要となっています。
- ・宅地化の進行が見られる市街地においては、日常生活を支え、災害時の安全を確保する道路などの整備による生活環境の改善が課題となっています。
- ・豊かな自然、歴史・文化、レクリエーション施設の立地など、本地区が有する多くの魅力を地区の活性化につなげていく必要があります。
- ・地域の特性を生かした農産物の生産と都市型農業の振興、森林など豊かな自然環境を保全する必要があります。

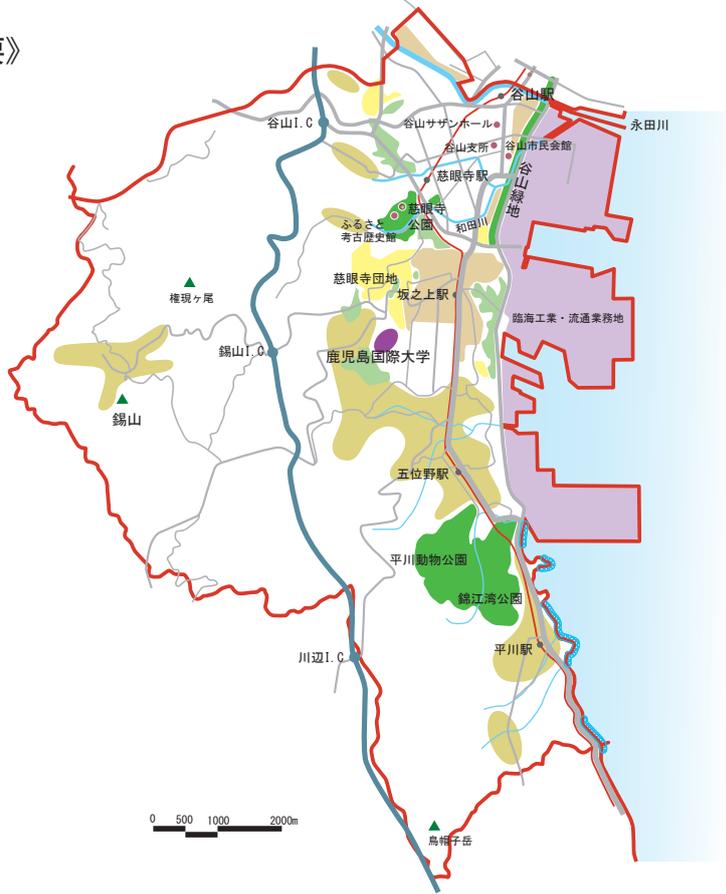
【基本的方向】

- ・谷山地区連続立体交差事業による鉄道の高架化や幹線道路の整備、交通結節機能の強化など、地区内の交通体系を整備するとともに、面的基盤整備や街区の再編を行い、都市機能の充実を図ります。
- ・宅地化が進行している市街地においては、土地区画整理事業の推進や生活道路の整備等により生活環境の改善を図ります。
- ・平川動物公園のリニューアルを進めるとともに、錦江湾公園、ヨットハーバーなどレクリエーション機能を有する施設の有効活用を図ります。
- ・農村地域において、都市型農業の推進、グリーン・ツーリズムの推進、また、山間部においては森林など豊かな自然環境の保全を図ります。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開しやすい環境づくりを進めます。

【主な施策・事業】

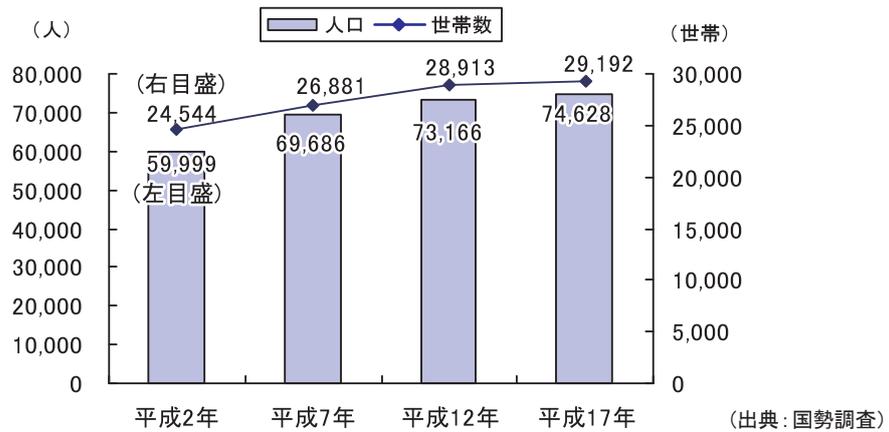
- ・谷山地区連続立体交差事業の推進
- ・鹿児島南北幹線道路・南薩縦貫道・国道226号平川道路の整備促進
- ・街路事業の推進（谷山支所前通線）
- ・あいばすの運行・利用促進、乗合タクシーの運行
- ・土地区画整理事業の推進（谷山駅周辺地区、谷山第二地区、谷山第三地区）
- ・平川動物公園のリニューアル及び錦江湾公園との一体的活用
- ・都市型農業の振興
- ・グリーン・ツーリズムの推進
- ・親子つどいの広場、新南部保健センターの整備
- ・谷山市民会館の整備

《地域の概要》

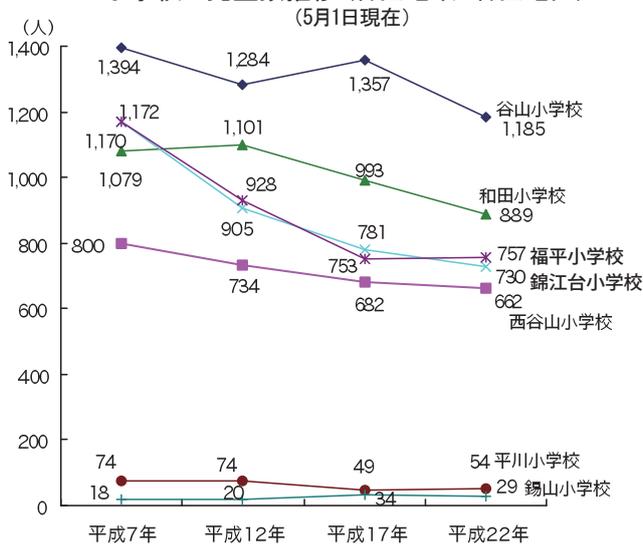


《人口等の推移》

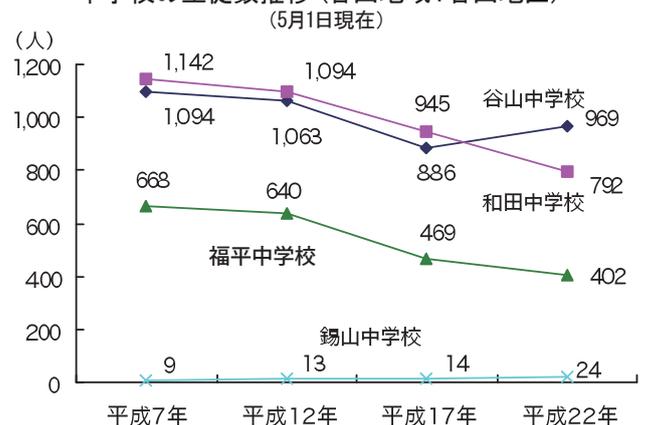
人口及び世帯数の推移 (谷山地域: 谷山地区)



小学校の児童数推移 (谷山地域: 谷山地区)



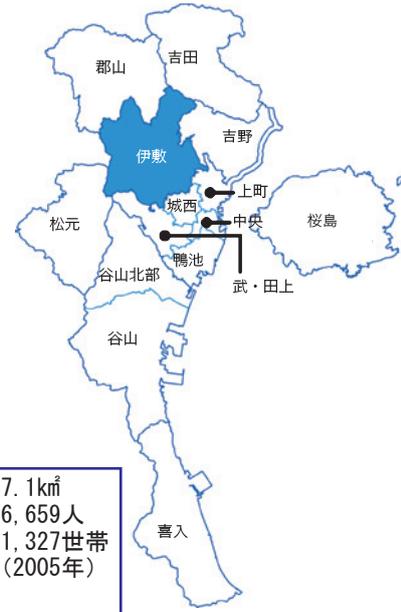
中学校の生徒数推移 (谷山地域: 谷山地区)



Ⅲ 伊敷地域

【現状】

- ・伊敷地域は、本市の北西部、甲突川の中流域に位置し、伊敷支所周辺、国道3号沿道の商業地、丘陵部の住宅団地などの限られた市街地と、地域の大部分を占める山林・山間部の農村集落で構成されています。
- ・地域の人口は近年減少傾向にあり、年齢別人口構成比では老年人口比率が21.1%と全市平均18.8%を上回っています。
- ・伊敷支所周辺には、伊敷公民館や業務施設が立地し、丘陵部には、伊敷団地、千年団地、伊敷ニュータウン、花野団地などの大型団地が整備されています。
- ・主要幹線として国道3号、国道328号、県道坂元伊敷線などがあり、かごしま健康の森公園や都市農業センター等が立地しています。
- ・農村部は、園芸施設を利用した軟弱野菜の産地となっており、緑豊かな田園風景や、三重岳や甲突川など豊かな自然環境が残されています。



【課題】

- ・本地域の店舗数及び人口は減少しており、伊敷支所周辺などにおいて、地域の生活拠点としての機能が低下している状況にあります。
- ・国道3号には広域交通と地区の生活交通が入り込み、時間帯によって、団地入口交差点などで交通混雑が生じています。
- ・農村集落においては、人口の減少などを踏まえ、集落機能の活力の維持・増進を図るとともに、特色である農業や恵まれた自然環境、立地する公共施設の機能を生かしていく必要があります。
- ・大型団地と農村部の住民間の交流が希薄なこと等により、地域の魅力や資源の情報共有や活用が十分になされていないことが課題となっています。

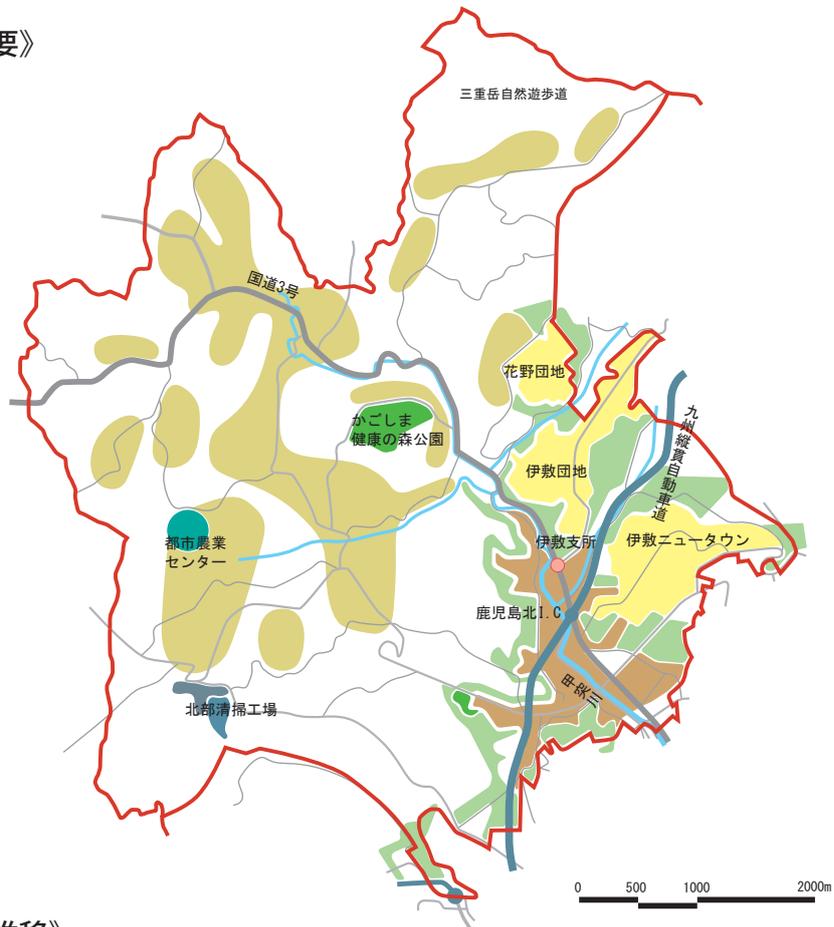
【基本的方向】

- ・日常生活の核となる地区への生活利便施設立地誘導に向けた取組を進めます。
- ・国道3号の交通を分散する幹線道路の整備促進や公共交通機関の利用促進等を図ります。
- ・定住促進等による農村集落機能の活力維持・増進、都市型農業の振興、グリーン・ツーリズムの推進、豊かな自然環境やかごしま健康の森公園、都市農業センター等の活用による交流の促進、高齢者福祉施設の整備を図ります。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開しやすい環境づくりを進めます。

【主な施策・事業】

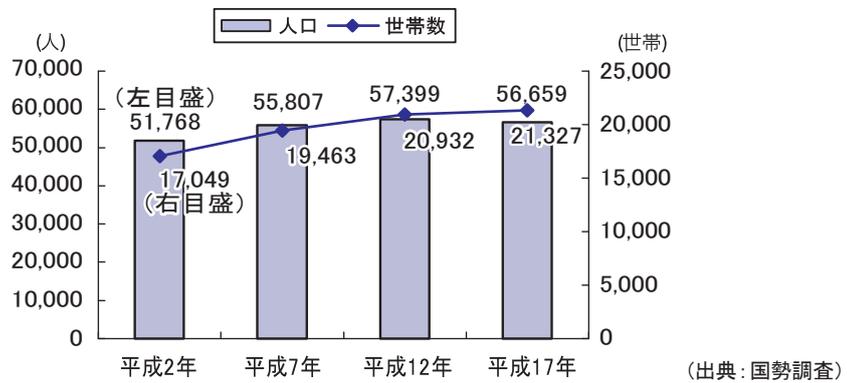
- ・県道坂元伊敷線の整備促進
- ・あいばすの運行・利用促進
- ・既存集落活性化住宅の建設
- ・都市型農業の振興
- ・グリーン・ツーリズムの推進
- ・かごしま健康の森公園、都市農業センター、三重岳自然遊歩道等の活用
- ・旧北部清掃工場跡地の整備
- ・高齢者福祉センターの整備
- ・親子つどいの広場の整備

《地域の概要》

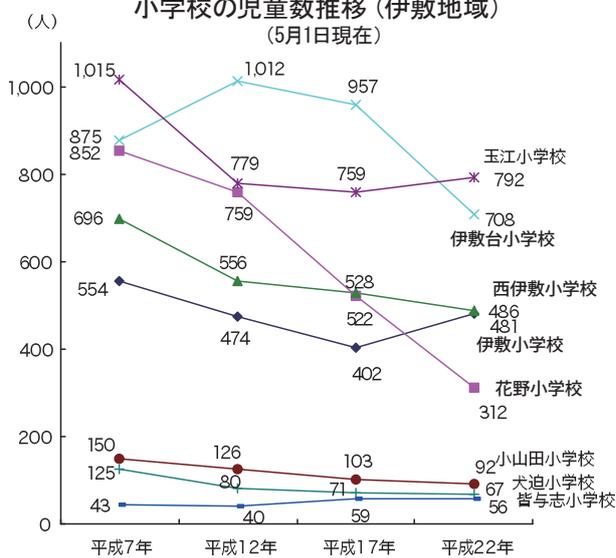


《人口等の推移》

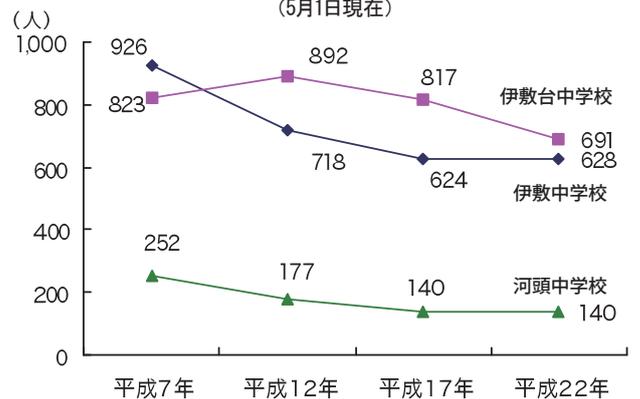
人口及び世帯数の推移（伊敷地域）



小学校の児童数推移（伊敷地域） （5月1日現在）



中学校の生徒数推移（伊敷地域） （5月1日現在）



IV 吉野地域

【現状】

- ・吉野地域は、本市の北部、稲荷川の上流域に位置し、吉野台地、稲荷川沿いの低地、岡之原の台地から構成されています。
- ・地域の人口は近年増加傾向にあり、年齢別人口構成比では老年人口比率が21.0%と全市平均18.8%を上回っています。
- ・地域を南北に通る県道鹿児島吉田線が主要幹線であり、丘陵部の大明丘、緑ヶ丘等では大型住宅団地が整備されています。
- ・地域の東部には、吉野公園や寺山公園、自然遊歩道など優れた景観風致を利用したレクリエーション施設を有しています。
- ・軟弱野菜等の施設園芸を主体とした農業経営がなされているほか、造園業も盛んに行われています。



【課題】

- ・県道鹿児島吉田線は、広域の通過交通と地域你的生活交通が集中し、渋滞が慢性化しています。
- ・県道鹿児島吉田線沿道では、道路など生活基盤が未整備である市街地の生活環境改善に向け、土地地区画整理事業を引き続き推進するとともに、県道鹿児島吉田線については、土地地区画整理事業との一体的な整備などにより、渋滞の解消を図る必要があります。
- ・農村集落においては、都市部とも調和した良好な生産環境の整備を促進し、都市型農業の振興を図る必要があります。
- ・市民の交流促進に向け、吉野公園や寺山公園などのレクリエーション施設の立地や、農業や造園業が盛んな地域特性を生かした地域づくりが求められます。

【基本的方向】

- ・土地地区画整理事業の推進や幹線道路等の整備を進め、良好な生活環境の形成を図るとともに、高齢者福祉センターや北部保健センターなどの有効活用を通して、日常の生活圏としての機能向上を図ります。
- ・自然環境の保全に配慮した農業生産基盤の整備を推進するとともに、都市型農業の振興やグリーン・ツーリズムの推進を図ります。
- ・豊かな自然の中で、体験活動や散策、スポーツ等を楽しめるレクリエーション機能の活用を図ります。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開しやすい環境づくりを進めます。

【主な施策・事業】

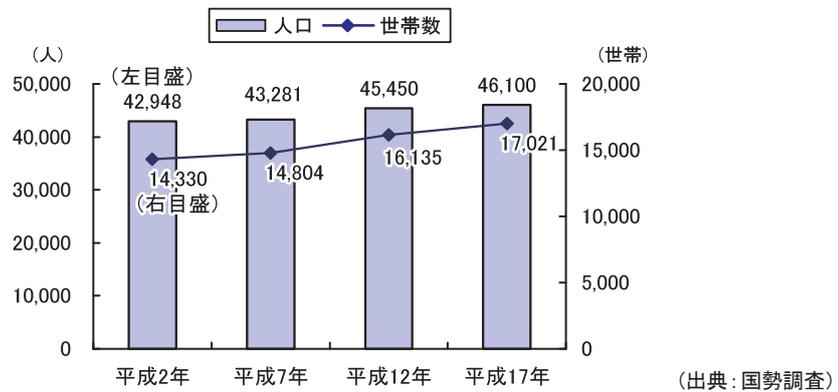
- ・土地地区画整理事業（吉野地区、吉野第二地区（仮称））の推進
- ・県道鹿児島吉田線の整備促進
- ・あいばすの運行・利用促進
- ・都市型農業の振興
- ・グリーン・ツーリズムの推進
- ・寺山ふれあい公園、吉野公園、寺山公園、寺山自然遊歩道等の活用
- ・親子つどいの広場の整備

《地域の概要》

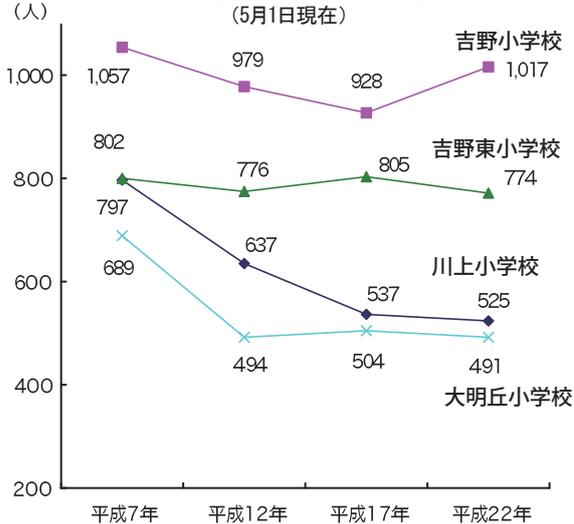


《人口等の推移》

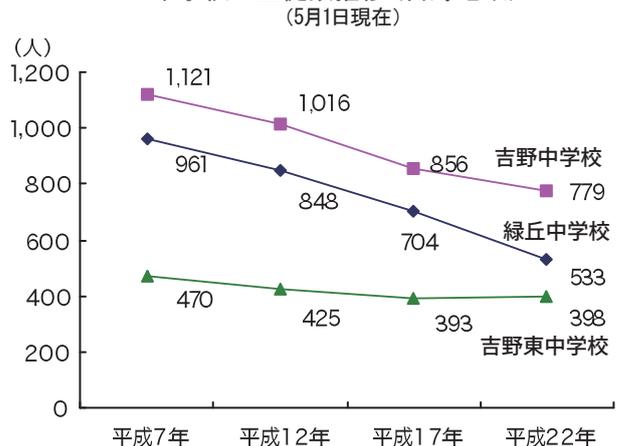
人口及び世帯数の推移（吉野地域）



小学校の児童数推移（吉野地域）



中学校の生徒数推移（吉野地域）



V 桜島地域

【現状】

- ・桜島地域は、錦江湾に浮かぶ火山活動が活発な桜島にあり、地域内のほとんどが溶岩原、山林及び原野であり、宅地の多くは海岸線に沿って帯状に続いています。
- ・地域の人口は減少傾向にあり、生産年齢及び年少人口比率が全市平均より低く、老年人口比率は全市で一番高くなっています。
- ・ほぼ全域が霧島屋久国立公園に指定され、溶岩原や温泉等の観光資源に恵まれており、溶岩なぎさ公園足湯、溶岩グラウンド、赤水展望広場、湯之平や有村の展望所などが整備され、24時間運航の桜島フェリーにより市街地と結ばれた、本市を代表する観光スポットとなっています。
- ・ビワ、桜島小ミカン、桜島ダイコン、ブリ、カンパチなど特色ある農林水産資源に恵まれています。
- ・桜島の爆発や土石流などの災害が発生しやすい環境にあり、防災行政無線、避難港、避難道路などが整備されています。



【課題】

- ・住民の日常生活や産業活動は、桜島の火山活動により多大な影響を被る恐れがあり、桜島爆発災害対策等の防災対策を含め、桜島地域の特殊性を考慮した施策を積極的に進め、火山活動から地区の暮らしを守り、地域資源の活用、活火山・桜島との共生を図りながら、活力の維持、増進を図ることが必要です。
- ・地域資源の掘り起こしや情報発信など、地域資源を生かした活力の維持・増進に向けた住民主体の取組が求められています。

【基本的方向】

- ・今後さらに活発化することが懸念される桜島の火山爆発に対応できるよう、国、県など防災関係機関との緊密な連携を図りながら、総合的な防災対策を推進します。
- ・地域特産物の生産振興、防災営農対策の確立、農村集落の生活環境の改善、グリーン・ツーリズムの推進及び漁業の振興を図ります。
- ・桜島全体を“野外博物館”として捉え、桜島の特性を生かした観光・レクリエーション機能の充実を図ります。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開し、やすい環境づくりを進めます。

【主な施策・事業】

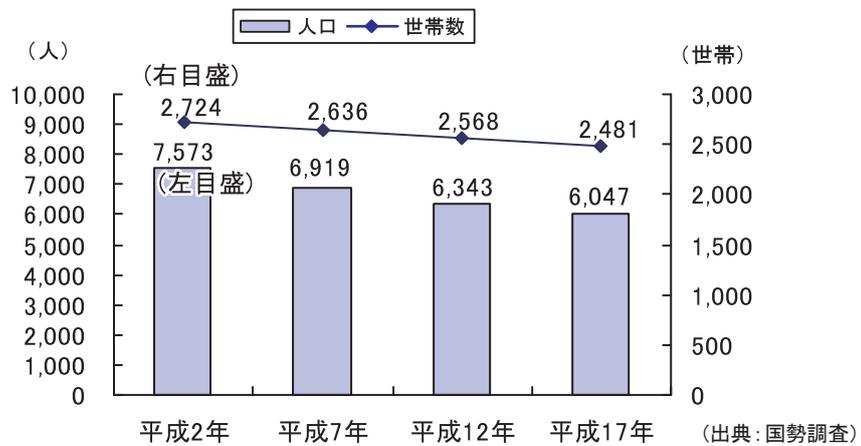
- ・市民と一体となった警戒避難体制の確立
- ・ビワ、桜島小ミカン、桜島ダイコンなど地域特産物の生産振興
- ・グリーン・ツーリズムの推進
- ・降灰等に対する防災営農対策事業の実施
- ・桜島港フェリー施設の整備
- ・よりみちクルーズ船の運航、桜島周遊バスの運行・活用
- ・赤水展望広場、溶岩なぎさ公園足湯、湯之平展望所等を活用した観光振興
- ・サイクルフェスタなど魅力あるイベントの創出・充実
- ・県道桜島港黒神線の整備促進
- ・桜島総合体育館、桜島溶岩グラウンド等の活用

《地域の概要》

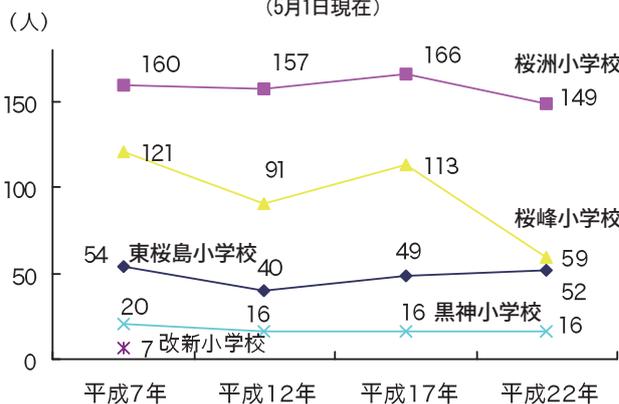


《人口等の推移》

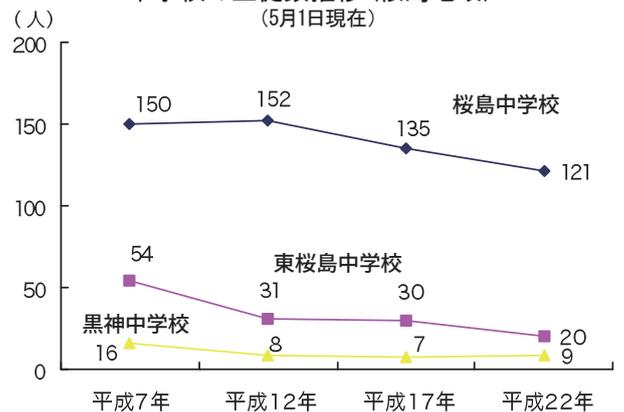
人口及び世帯数の推移 (桜島地域)



小学校の児童数推移 (桜島地域) (5月1日現在)



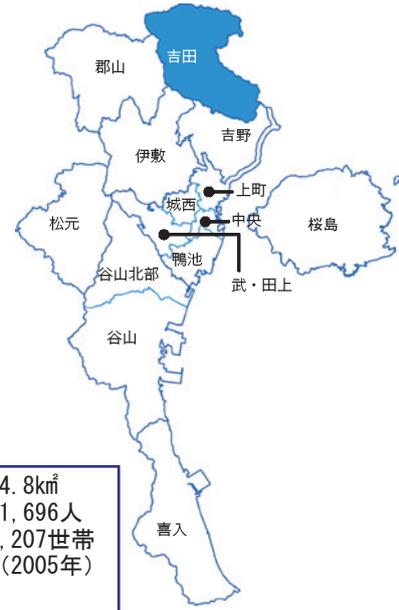
中学校の生徒数推移 (桜島地域) (5月1日現在)



VI 吉田地域

【現状】

- ・吉田地域は、本市の北部に位置し、周りを山々に囲まれ、溪流や緑豊かな自然環境に恵まれた田園地域です。
- ・地域の人口は近年減少傾向にあり、老年人口比率は22.6%と市内平均18.8%を上回っています。
- ・県の教育・研修施設や、吉田多目的屋内運動場、吉田文化体育センターなど文化・体育施設が整備されています。
- ・地域を南北に縦断する九州縦貫自動車道や県道鹿児島蒲生線など、都心部と鹿児島空港や県北部とを結ぶ幹線道路を有しています。
- ・軟弱野菜を主体とした施設園芸や、ニガウリなどの地域特産物の生産が行われています。



【課題】

- ・過疎化が進む既存集落における定住促進に向けた取組や、緑豊かな自然環境や農村景観、立地する文化・体育施設等を活用しながら、都市部住民との交流を通じた地域活力の維持・増進を図っていく必要があります。
- ・幹線道路の整備促進等を通じた交通の円滑化を図る必要があります。
- ・農地や森林などの豊かな自然環境の保全、生産基盤の整備等による農林業の振興、農村集落の生活環境の改善を図る必要があります。
- ・地域資源の掘り起こしや情報発信など、地域資源を生かした活力の維持・増進に向けた住民主体の取組が求められています。

【基本的方向】

- ・地域活性化住宅の建設や公共交通機関の機能強化、幹線道路の整備促進等を進める中で、自然環境と調和した安らぎのある生活環境の形成を図ります。
- ・文化・体育施設や、周辺に残された美しい農村景観、森林などの豊かな自然、農業、温泉などの地域資源の有効活用を図ります。
- ・農地や森林の保全・活用及び水源のかん養に努めながら、地域特産物の生産及び都市型農業の振興、農村集落の生活環境の改善を図るとともに、農業や豊かな自然等を生かしたグリーン・ツーリズムを推進します。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開しやすい環境づくりを進めます。

【主な施策・事業】

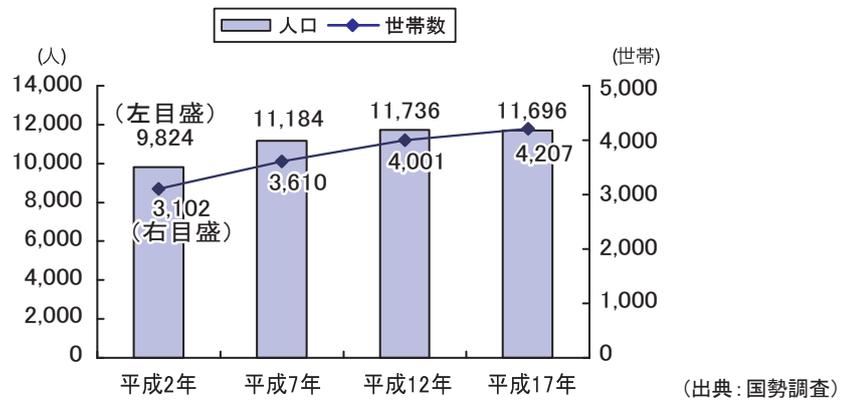
- ・地域活性化住宅の建設（宮地区）
- ・あいばすの運行・利用促進
- ・森林資源の育成、水源かん養のための森林整備
- ・地域特産物の生産振興及び都市型農業の振興
- ・グリーン・ツーリズムの推進
- ・吉田文化体育センター、運動場等の活用

《地域の概要》

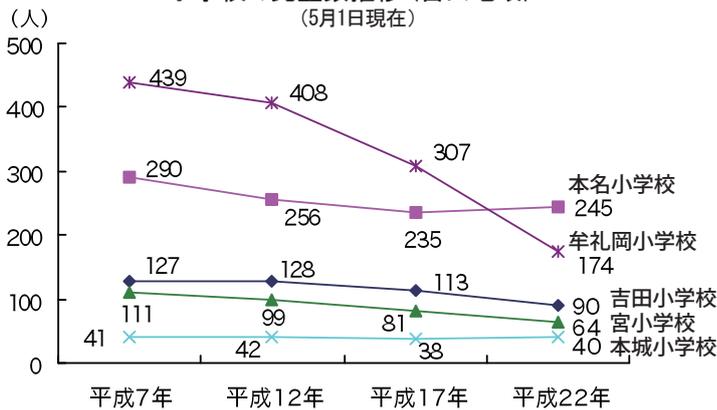


《人口等の推移》

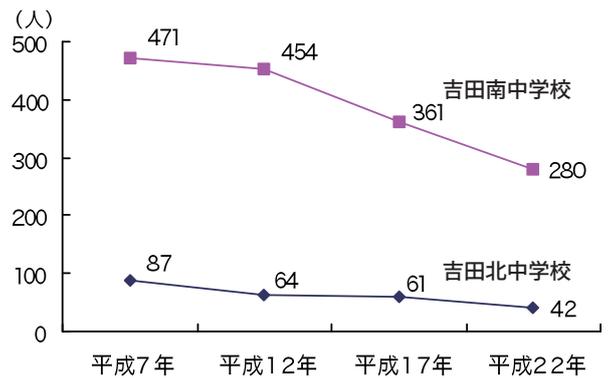
人口及び世帯数の推移 (吉田地域)



小学校の児童数推移 (吉田地域)
(5月1日現在)



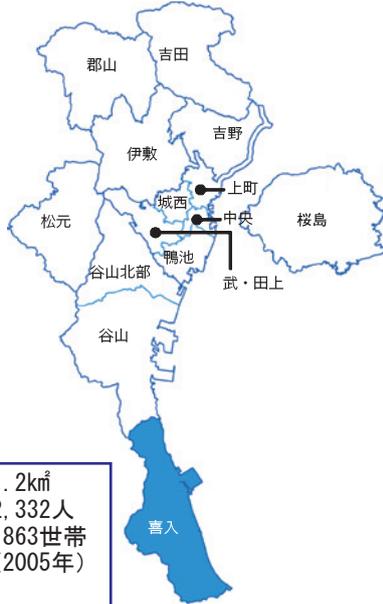
中学校の生徒数推移 (吉田地域)
(5月1日現在)



VII 喜入地域

【現状】

- ・喜入地域は、市域の南部に位置し、錦江湾沿いに細長い形状を成し、その約8割を占める山地と長い海岸線で構成されています。
- ・地域の人口は近年減少傾向にあり、老年人口比率は桜島地域に次いで高くなっています。また、交通面、商業集積など生活の利便性の格差から、北中部への人口集中と南部の過疎化・高齢化の二分化が見られます。
- ・錦江湾沿いの限られた平坦地に国道226号や鉄道が通っています。
- ・気軽な温泉リゾートが楽しめるマリニピア喜入や生見海水浴場等があり、また、地域固有の植生や美しい景観を有する自然海岸や一団の山林自然環境が残されています。
- ・オクラやカボチャなどの地域特産物の生産が行われています。



・面積：61.2km²
・人口：12,332人
・世帯数：4,863世帯
平成17年（2005年）
国勢調査

【課題】

- ・都心部へのアクセス道路が幹線道路である国道226号等に限定されていることから、慢性的な交通渋滞が発生しており、その解消が求められています。
- ・過疎化が進む既存集落における定住促進に向けた取組、海や山林などの自然や地域資源を生かした観光・レクリエーション機能の向上、都市部住民との交流を通じた地域活力の維持・増進を図っていく必要があります。
- ・農地や森林などの豊かな自然環境の保全、生産基盤の整備等による農林業や漁業の振興、農村集落の生活環境の改善を図る必要があります。
- ・地域資源の掘り起こしや情報発信など、地域資源を生かした活力の維持・増進に向けた住民主体の取組が求められています。

【基本的方向】

- ・都心部と結ぶ交通ネットワークの整備充実など交通の円滑化を図るとともに、地域活性化住宅の建設を進めます。
- ・生見海水浴場、マリニピア喜入のほか、史跡や景勝地など地域資源の有効活用に加え、新たに観光農業公園を整備することにより、観光・レクリエーション機能の向上やグリーン・ツーリズムの推進を図ります。
- ・農地や森林の保全・活用に努めながら、地域特産物の生産及び都市型農業の振興、農村集落の生活環境の改善を図るとともに、漁業の振興を図ります。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開しやすい環境づくりを進めます。

【主な施策・事業】

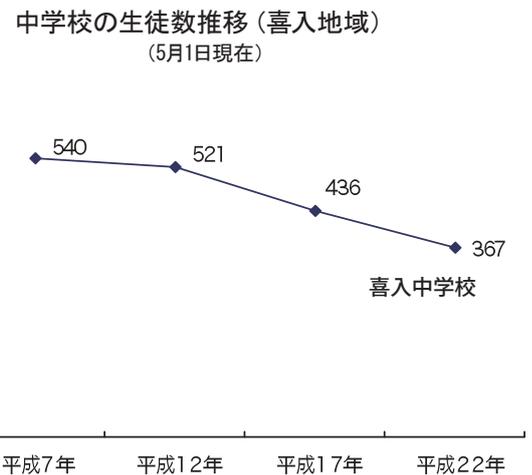
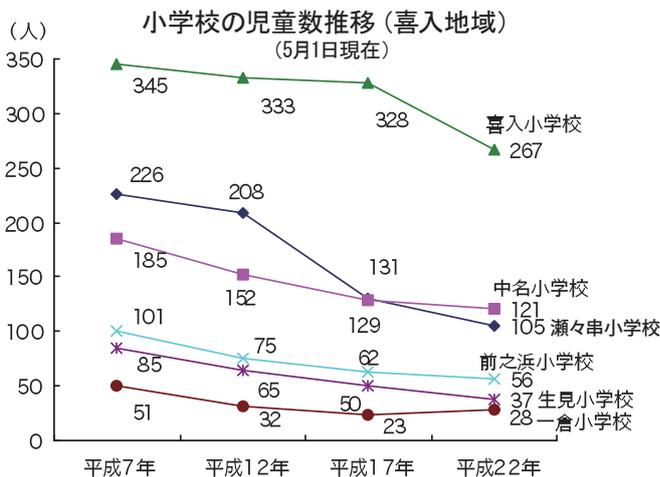
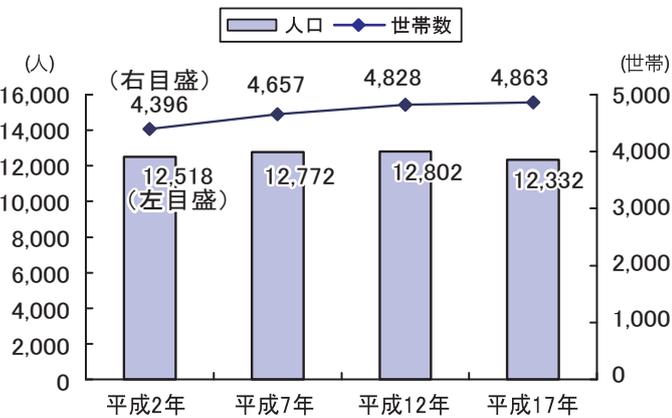
- ・国道226号の整備促進
- ・喜入地域と谷山地域を結ぶ市道の整備（五位野高野線（仮称））※整備箇所は谷山地区
- ・あいばすの運行・利用促進
- ・地域活性化住宅の建設（瀬々串地区）
- ・観光農業公園の整備、マリニピア喜入の活用
- ・グリーン・ツーリズムの推進
- ・地域特産物の生産振興及び都市型農業の振興
- ・喜入分遣隊庁舎の整備、新喜入公民館の活用及び多目的ホールの整備
- ・喜入総合体育館、運動場等の活用

《地域の概要》



《人口等の推移》

人口及び世帯数の推移（喜入地域）



VIII 松元地域

【現状】

- ・松元地域は、市域の西部に位置し、多くの丘陵と溪谷からなり、河川沿岸や幹線道路沿線の限られた平坦地と主に山地で構成されています。
- ・地域の人口は、平成17年の国勢調査による人口増加率が対前回は4.6%増と、伸びは鈍化しているものの引き続き増加傾向にあります。
- ・近年、ガーデンヒルズ松陽台などの宅地化が進む一方、山林は減少傾向にあります。依然として本地域の広範囲を占め、豊かな自然環境の中で、松元ダムの水を利用し、地域特産物である茶等の生産が行われています。
- ・南九州西回り自動車道や、永吉入佐鹿児島線等4つの県道、2つのJR駅などの交通基盤を有しています。
- ・松元平野岡体育館、運動場や茶山ドームまつもとなど、スポーツ・レクリエーション施設が整備されています。



【課題】

- ・住宅開発が進む中、進展する都市的土地利用について、周辺の田園環境との調和が図られるよう計画的に誘導するとともに、幹線道路における交通の円滑化や小中学校周辺の歩行者の安全確保など、人口増加に対応した都市機能の充実を図る必要があります。
- ・農地や森林などの豊かな自然環境の保全、生産基盤の整備等による農林業の振興、農村集落の生活環境の改善を図る必要があります。
- ・特徴的な景観を形成する茶園等の田園風景や緑豊かな自然環境、立地するスポーツ・レクリエーション施設を活用しながら、都市部住民との交流を通じた地域活力の維持・増進を図っていく必要があります。
- ・地域資源の掘り起こしや情報発信など、地域資源を生かした活力の維持・増進に向けた住民主体の取組が求められています。

【基本的方向】

- ・市街地においては、用途地域や地区計画などの活用により、田園環境と調和した土地利用の誘導や、良好な住環境の形成を図ります。
- ・県道の整備促進等により、交通の円滑化や生活環境の改善を図ります。
- ・農地や森林の保全・活用に努めながら、地域特産物の生産及び都市型農業の振興、農村集落の生活環境の改善を図るとともに、都市と農村の交流施設を整備し、農業や豊かな自然を生かしたグリーン・ツーリズムを推進します。
- ・スポーツ・レクリエーション施設を、健康づくり、交流の場として利活用を図ります。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開しやすい環境づくりを進めます。

【主な施策・事業】

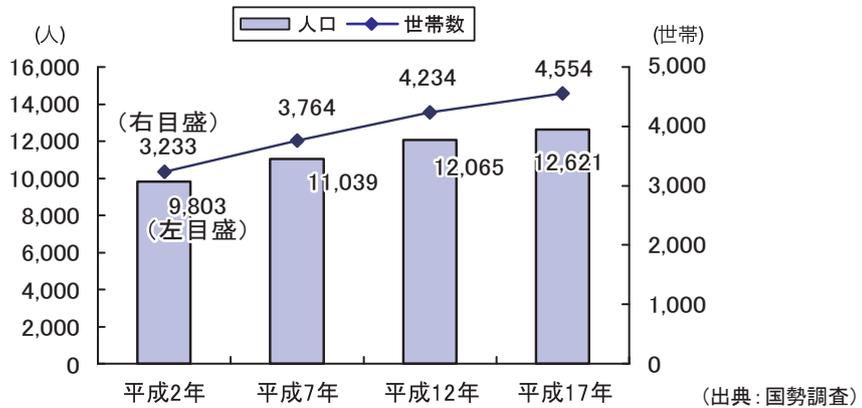
- ・松元春山送水施設の整備
- ・県道永吉入佐鹿児島線・県道松元川辺線の整備促進
- ・あいばすの運行・利用促進
- ・茶などの地域特産物の生産振興及び都市型農業の振興
- ・県茶業指導農場跡地の整備
- ・グリーン・ツーリズムの推進
- ・松元平野岡体育館、運動場等の活用

《地域の概要》

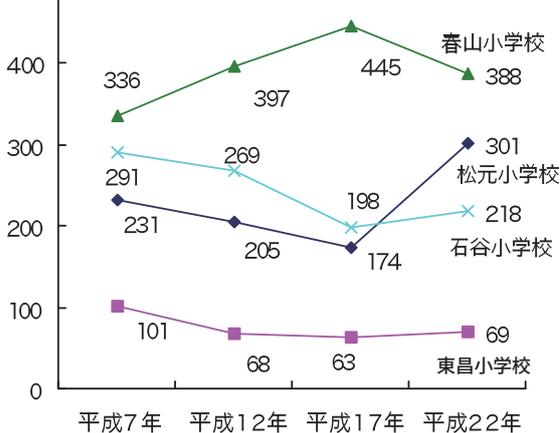


《人口等の推移》

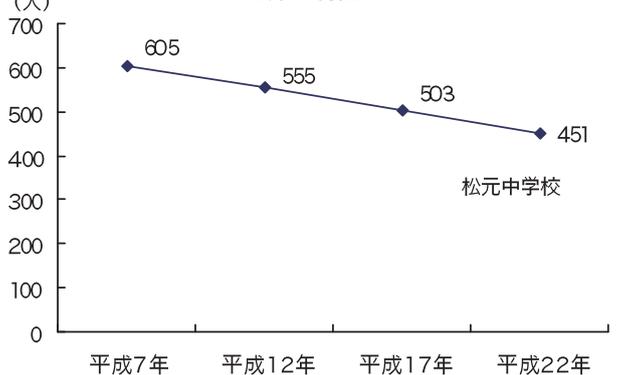
人口及び世帯数の推移 (松元地域)



小学校の児童数推移 (松元地域)
(5月1日現在)



中学校の生徒数推移 (松元地域)
(5月1日現在)



区 郡山地域

【現状】

- ・郡山地域は、本市の北西部、甲突川の上流部に位置し、東の花尾山・三重岳、西の重平山、南の小高い丘陵地帯、北の八重山に囲まれており、平坦地は甲突川、神之川及び川田川流域に開けたわずかな地域に限られています。
- ・地区の人口は、近年減少傾向にあり、老年人口比率は、桜島地域、喜入地域に次いで高くなっています。
- ・本地域の中心部においては、国道328号等の幹線道路沿いに市街地が形成されています。
- ・本地域には、豊富な温泉や花尾神社などの史跡、さらには地域の大半を占める森林や河川流域に広がる田園などの地域資源に加え、スパランド裸・楽・良が立地しています。
- ・肉用牛やニガウリを中心とした農畜産物のほか、早掘りたけのこ等の産地となっています。

【課題】

- ・引き続き郡山中央地区の土地区画整理事業を推進し、良好な市街地環境の形成を図るとともに、公園や緑地等の整備を行う必要があります。
- ・特徴的な田園風景や緑豊かな自然環境、史跡や立地するスパランド裸・楽・良等を活用しながら、都市部住民との交流を通じた地域活力の維持・増進を図っていく必要があります。
- ・農地や森林などの豊かな自然環境の保全、生産基盤の整備等による農林業の振興、農村集落の生活環境の改善を図る必要があります。
- ・地域資源の掘り起こしや情報発信など、地域資源を生かした活力の維持・増進に向けた住民主体の取組が求められています。

【基本的方向】

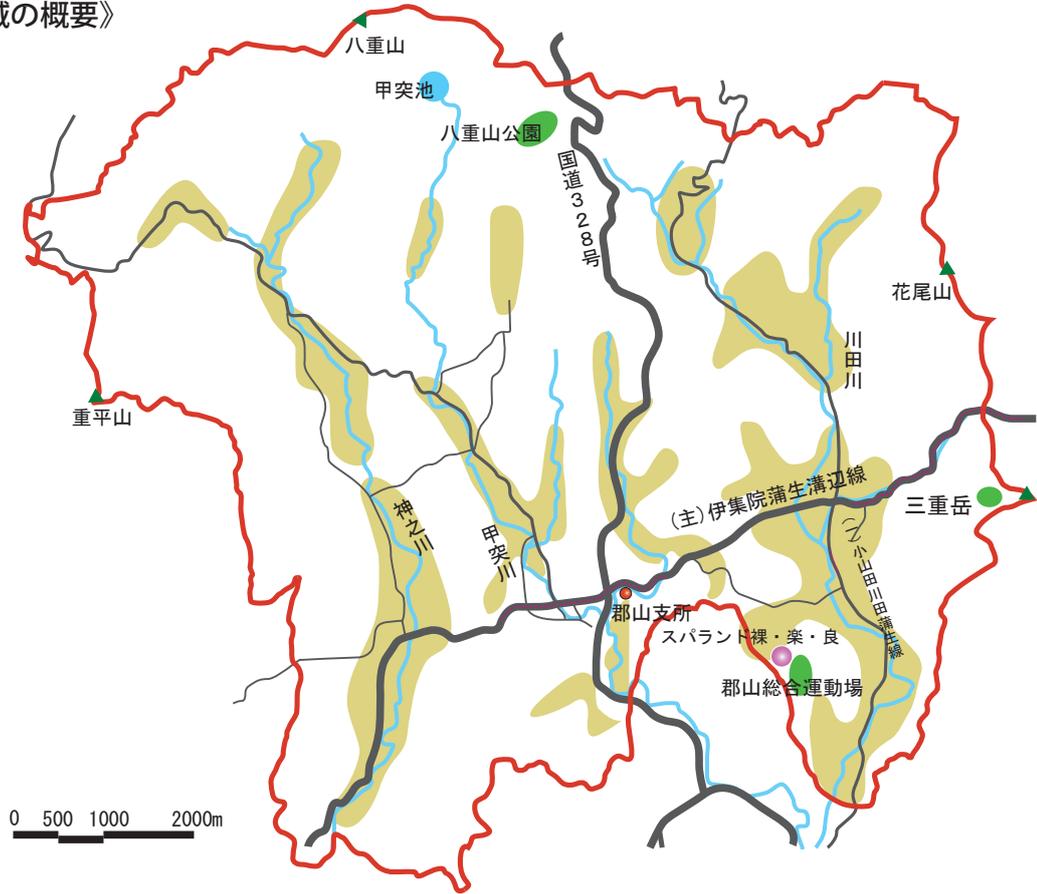
- ・郡山中央土地区画整理事業を推進し、生活環境の整備とともに、地域中心としての機能の充実を図ります。
- ・国道328号等の基幹道路、市街地とのアクセス道路の整備促進により交通の円滑化を図るとともに、屋内運動施設を整備するなどスポーツ・レクリエーション機能の充実を図ります。
- ・八重の棚田や甲突池などに代表される森林・河川・田園・温泉・文化財等の地域資源の有効活用を図ります。
- ・農地や森林の保全・活用及び水源のかん養に努めながら、地域特産物の生産及び都市型農業の振興、農村集落の生活環境の改善を図るとともに、農業や豊かな自然等を生かしたグリーン・ツーリズムを推進します。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、地域資源を生かした、住民主体の多様な地域活動を展開しやすい環境づくりを進めます。

【主な施策・事業】

- ・土地区画整理事業の推進（郡山中央地区）
- ・県道小山田川田蒲生線の整備促進
- ・あいばすの運行・利用促進
- ・スパランド裸・楽・良等と連携した屋内運動施設の整備・活用
- ・八重の棚田における景観修景の推進や景観保全のための地域活動への支援
- ・森林資源の育成、水源かん養のための森林整備
- ・地域特産物の生産振興及び都市型農業の振興
- ・グリーン・ツーリズムの推進



《地域の概要》



《人口等の推移》

人口及び世帯数の推移 (郡山地域)

